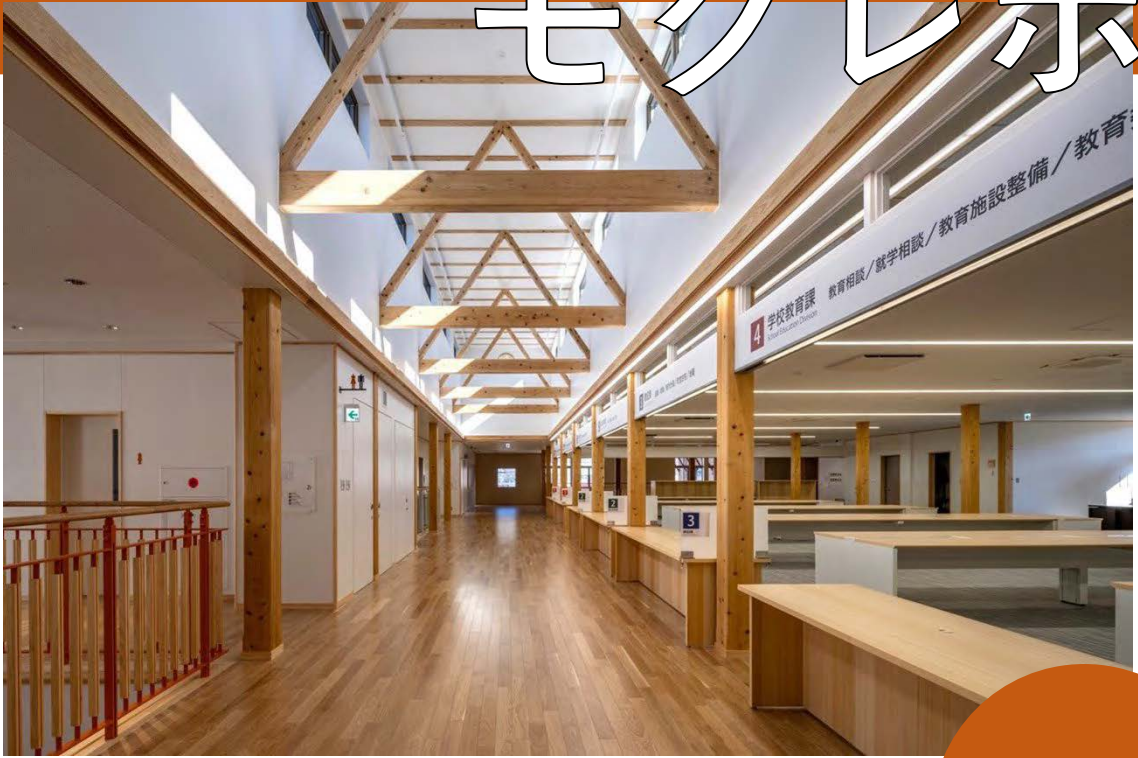


モクレポ



○小鹿野町役場（埼玉県小鹿野町）
※令和5年度木材利用優良施設等コンクール農林水産大臣賞

令和5年12月
No.27

特集

- 令和4年度における森林環境譲与税の取組状況
- 第46回全国育樹祭（茨城県潮来市、水戸市）
- ウッドデザイン賞2023上位賞受賞作品決定
- 第59回国際熱帯木材理事会（ITTC59）

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和5年12月号

特集

- 1 令和4年度における森林環境譲与税の取組状況 ……1
- 2 第46回全国育樹祭（茨城県潮来市、水戸市） ……2
- 3 ウッドデザイン賞2023上位賞受賞作品決定 ……3
- 4 第59回国際熱帯木材理事会（ITTC59） ……4

01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数 ……5
- 2 新設住宅着工床面積 ＜参考＞非居住用建築物着工床面積 ……8
- 3 木材産業の業況 ……12
- 4 USドル及びユーロ為替相場 ……13
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃 ……14
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準 ……15

02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格 ……16
- 2 木材価格（農林水産統計） ……18

03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向 ……27
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……30
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……31
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……32
- 5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高 ……33
- 6 素材生産量 ……34
- 7 木材生産の産出額 ……35

04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額 ……36
- 2 木材輸出額 ……37
- 3 木材輸入額 ……38
- 4 木材輸入量 ……39
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価 ……45

05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量 ……46
- 2 特用林産物の産出額 ……47
- 3 特用林産物の輸出入量 ……48
- 4 特用林産物の輸出額 ……49
- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量 ……52
- 6 きのこと類の卸売量・価格 ……53

06 セミナー・イベント情報

- 12月中旬以降の開催情報 ……54

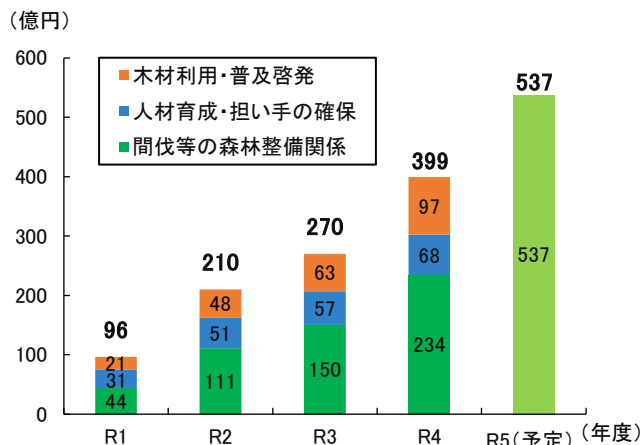
お知らせ

- 10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！ ……55
- 独立行政法人農林業信用基金からのお知らせ ……57
- ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内 ……58

特集-1 令和4年度における森林環境譲与税の取組状況

- 林野庁は、2023年10月27日に、令和4年度における森林環境譲与税の取組実績を公表。
- 令和4年度における森林環境譲与税の活用額は399億円（譲与総額の80%）、令和5年度の活用予定額は537億円（同107%）。
- 令和4年度における間伐等の森林整備面積は、令和元年度の約7倍となるなど、取組は着実に進展。
- 令和6年度からの森林環境税の課税開始に向け、総務省とも連携して、森林環境税・森林環境譲与税に関する情報発信・広報を強化。

■ 森林環境譲与税の活用額



注1：活用額は、都道府県及び市町村の合計。

注2：R5予定の金額については、2023年3月時点（一部、9月）で自治体への聞き取り結果をとりまとめたもの。

■ 市町村における主な取組実績

主な取組実績	R元	R2	R3	R4
森林経営管理制度による意向調査実施面積	約12.5万ha	約21.6万ha	約18.0万ha	約18.3万ha 【1.5倍】
森林整備面積 (うち間伐面積)	約5.9千ha (約3.6千ha)	約17.9千ha (約10.3千ha)	約30.8千ha (約14.2千ha)	約43.3千ha (約19.9千ha) 【7.4倍】
林道、森林作業道等の整備	約90km	約238km	約420km	約514km 【5.7倍】
木材利用量	約5.4千m ³	約13.4千m ³	約22.5千m ³	約27.6千m ³ 【5.1倍】
イベント、講習会等	約900回	約1,000回	約1,800回	約2,400回 【2.7倍】

注：【】内の数値は、R元の取組実績と比較した値。

森林環境税・森林環境譲与税に関する情報発信・広報

- 林野庁では、森林環境譲与税による取組の成果を国民の皆様に分かりやすくお伝えするため、本年10月に、森林環境税・森林環境譲与税に関する新たなウェブページを開設。林野庁SNSによる情報発信も強化。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/231018.html>



新しいウェブページ

<https://www.facebook.com/rinyajapan/?locale=ja-JP>



林野庁フェイスブック

- 総務省と連携し、森林環境税・森林環境譲与税のキャッチコピー「国民一人一人が、森を支える。森林環境税」を作成し、ポスターやチラシにより、各種行事で広報活動を積極的に実施。
- 都道府県及び市町村においても、ウェブページの充実や広報誌の活用等、各自治体の工夫により、効果的・積極的な取組を展開。



各種行事で配布しているPRチラシ



林野庁展示ブース

(左：農林水産祭(東京都豊島区)、右：森林・林業・環境機械展示実演会(茨城県ひたちなか市))

森林環境税・森林環境譲与税についての詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyouzei.html



- 国土緑化推進機構と茨城県は、2023年11月11日から12日に、茨城県潮来市の茨城県水郷県民の森及び水戸市のアダストリアみとアリーナで、「第46回全国育樹祭」を開催。

■ 全国育樹祭とは

全国育樹祭は、皇族殿下の御臨席のもと、健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、1977年から各都道府県を巡って毎年秋季に開催されている育樹運動のシンボリックな行事。

茨城県での開催は、34年ぶり2回目。（前回は1989年）

■ 第46回全国育樹祭

2023年11月11日から12日に、茨城県において、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席の下、第46回全国育樹祭を開催。テーマは、「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」。

11日は「茨城県水郷県民の森」で「お手入れ行事」を実施。2005年の第56回全国植樹祭で天皇皇后両陛下（当時）がお手植えされた、タブノキの枝打ちとヤマボウシの施肥を実施。

12日は「アダストリアみとアリーナ」で式典行事を実施。大会会長の尾辻秀久参議院議長（国土緑化推進機構最高顧問）と大井川和彦茨城県知事からの挨拶の後、皇嗣殿下から「かけがえのない豊かな森林を維持し、その豊富な資源を有効に活用するとともに、健全な姿で後世へと引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な務め」とのお言葉があった。

その後、全国での育樹活動や茨城県の森林の育成に功績のあった方々への表彰、全国から選ばれた緑の少年団への「緑の贈呈」（ヤマザクラ等の苗木の贈呈）等を実施。

続いて、いばらきと未来の日本の緑について考える「NEWS LIVE STREAMING」として、茨城県の林業最前線から茨城県産材の利用や、日本と世界の林業の未来について、映像とニュース形式の解説で紹介。

最後に、国土緑化推進機構の濱田純一理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は閉幕。

第47回全国育樹祭は、「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマに、2024年10月に福井県で開催予定。



秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れの様子（提供：茨城県）



緑の少年団にお声がけされる
秋篠宮皇嗣同妃両殿下（提供：茨城県）



表彰を行う宮下農林水産大臣

これまでの全国育樹祭については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/ikujy/index.html>



- 第9回目となるウッドデザイン賞2023（※）では全国各地から355点の応募があり、238点が入賞に当たる「ウッドデザイン賞」を受賞。
- 受賞作品の中から、最優秀賞（農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞）各1点、優秀賞（林野庁長官賞）9点、奨励賞（審査委員長賞）15点、今年度新たに創設された大阪・関西万博特別賞3点を選定。

※（一社）日本ウッドデザイン協会主催

【最優秀賞】

農林水産大臣賞

林業×福祉連携プロジェクト「森tebaco」

パワープレイス(株) ほか



【ソーシャルデザイン部門】

新しい木製品のデザインにより森林資源の付加価値を高め、障害者の雇用や誇りを持って働ける場をつくる林福連携プロジェクト。

経済産業大臣賞

Gywood®テーブル用天板

ナイス(株)



【ハートフルデザイン部門】

スギ材に表層圧密技術「Gywood®」を施すことで、強度・硬度を向上させた軽量のテーブル用天板。工事不要で取り換えることができ、オフィスや学校のウッド・チェンジ促進に期待。

国土交通大臣賞

北海道地区FMセンター

(株)竹中工務店 ほか



【ソーシャルデザイン部門】

北海道の森林とまちをつなぐ循環の促進を狙い、一般流通材を用いた工法を新たに開発し、亜寒帯気候地域における非住宅木造のプロトタイプを目指したオフィス。

環境大臣賞

森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み

(株)サカモト



【ソーシャルデザイン部門】

母屋とエネルギー棟で構成する、森に親しむワークショップ等を行うモデルハウス。地域産材を用いて地域の職人が施工。環境負荷低減にも配慮。

【大阪・関西万博特別賞】

【ソーシャルデザイン部門】



FARM FRONT seki_noen / (有)米山工務店

【ソーシャルデザイン部門】



蕨山そばの館 / (株)STUDIO YY ほか

【ソーシャルデザイン部門】



ごはんや一芯 京都店 / (株)ムーンバランス

【優秀賞】

【ライフスタイルデザイン部門】



ジュテック本社ビル
鹿島建設(株) ほか



フランリビング
(株)カンディハウス



なないろこまち
(株)黒田潤三アトリエ ほか

【ハートフルデザイン部門】



サイクリングロード
“旭川・りんくろのライン”
(株)ofa ほか



北こぶし知床ホテル &
リゾートUNEUNA /
KAKUUNA
(株)アーティストリー ほか



セーザイゲーム
熊野林星会

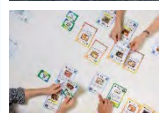
【ソーシャルデザイン部門】



選手村ビレッジプラザ
(株)日建設計



東海大学阿蘇くまもと
臨空キャンパス食品加工
教育実習棟
(株)石本建築事務所 ほか



やまなしSDGsプロジェクト
「moritomirai(モリミライ)」
山梨日日新聞社

ライフスタイルデザイン部門：木を活かして質の高いライフ＆ワークスタイルを提案しているもの
ハートフルデザイン部門：木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるもの
ソーシャルデザイン部門：木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているもの

受賞作品の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.wooddesign.jp/>



特集-4 第59回国際熱帯木材理事会（ITTC59）

- 2023年11月13日～17日、タイで第59回国際熱帯木材理事会（ITTC59）が開催。
- 林野庁から、持続可能な木材利用（Sustainable Wood Use（SWU））の更なる展開を含む、新たなプロジェクトへの拠出を表明。
- 欧州森林減少フリー製品に関する規則（EUDR）についても活発に議論。

■ 第59回国際熱帯木材理事会（ITTC59）について

- 国際熱帯木材機関（ITTO）の最高意思決定機関。
- 今次会合は、2019年にトーゴで開催されたITTC55以来、4年ぶりに生産国で対面での開催。28加盟国及びEUの政府関係者、国際機関等が参加。
- 林野庁は、全体会合のほか、森林・林業関連の2つの技術委員会に対応。



次期議長へ引継（全体会合）

■ 技術委員会等における議論の概要

- 林野庁は、コートジボワールとマレーシアでのプロジェクトへの新たな拠出を表明。後者については、林野庁拠出による、ベトナム、タイ及びインドネシアで実施中のSWU促進の取組をさらに拡大するもの。

コートジボワール北部ラ・パリ及びバウンダリ公有林におけるアフリカン・ローズウッドの地域コミュニティの参加による保全（フェーズⅠ）（2023年拠出）

【事業総額】 497,982米ドル

【実施機関】 森林開発公社

【実施期間】 24か月

【事業内容】 ① 造林技術の確立と普及
② 地域コミュニティによる持続可能で管理された利用体制の確立
③ 適切な野焼き管理

マレーシア国内市場における持続可能な木材利用の促進（2023年拠出）

【事業総額】 232,238米ドル

【実施機関】 マレーシア木材認証協議会

【実施期間】 18か月

【事業内容】 ① 国内消費の喚起に向けた政策枠組の改善
② 消費促進、木材製品生産の能力強化
③ 市場の需給状況と流通管理の評価
④ 木材認証情報システム構築

- 先行する3か国のSWUプロジェクトについて、プロジェクト・コーディネーターが、進捗や成果を報告。



成果等を報告する
プロジェクト・コーディネーター
（左インドネシア、右ベトナム）



パネル展示により、
タイにおけるSWU促進
プロジェクトを紹介

- 会期2日目の「貿易と市場の日」には、EUDRについて議論が行われ、専門家によるプレゼンテーションの後、同規制への対応に向けた課題について、生産国及びEUとの間で活発な意見交換を実施。



欧州の業界団体より、
欧州の事業者の対応について紹介



EUDRに関する声明文を読み上げる
ITTO貿易諮問グループの代表

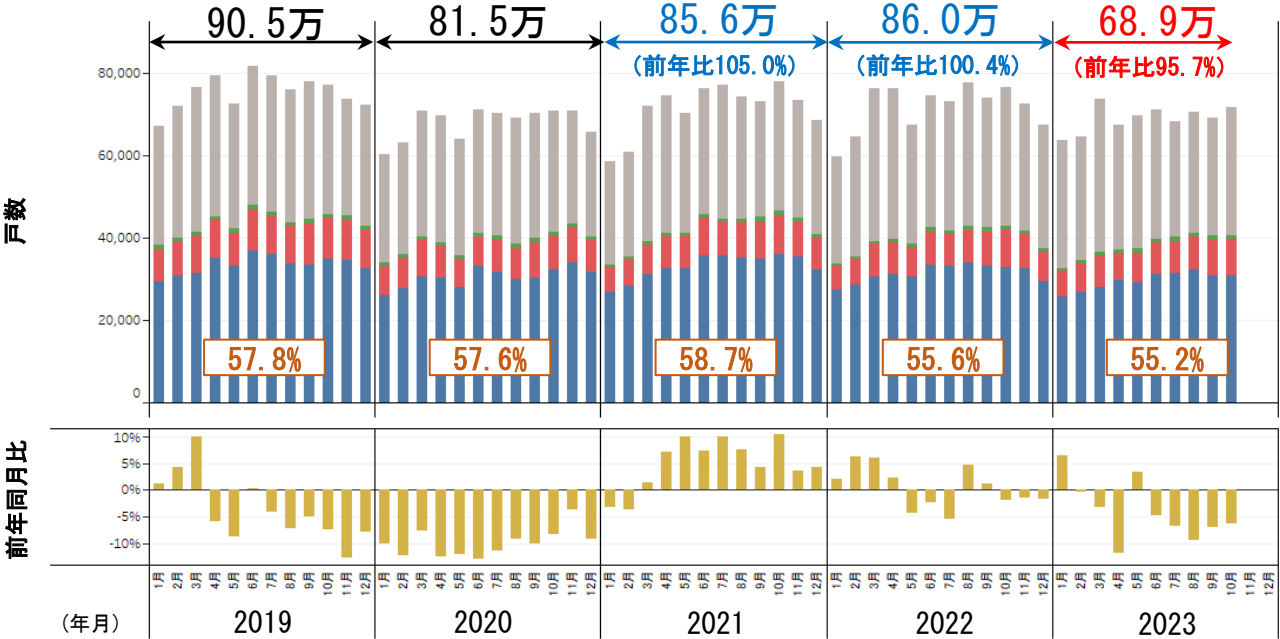
ITTOへの拠出事業やITTCの詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/itto.html>

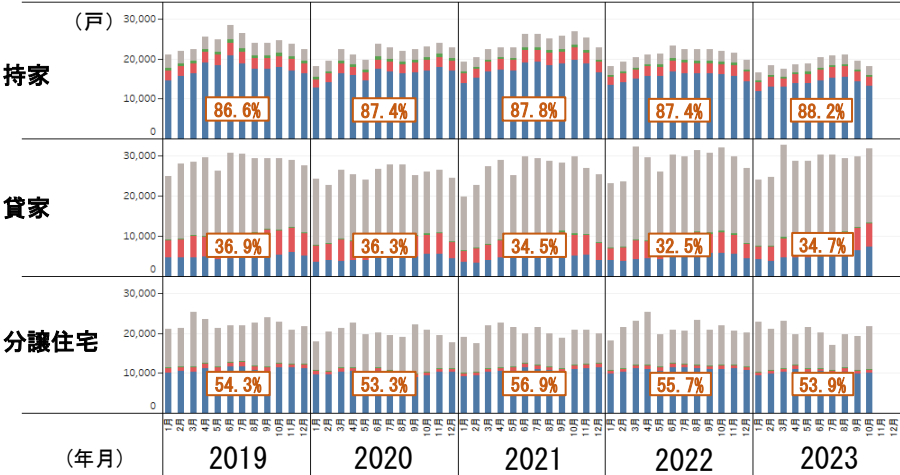


基礎的指標- 1 新設住宅着工戸数

- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）
- 2023年1～10月の新設住宅着工戸数は、68.9万戸（前年同期比95.7%）、このうち木造住宅は38.0万戸（同95.3%）。



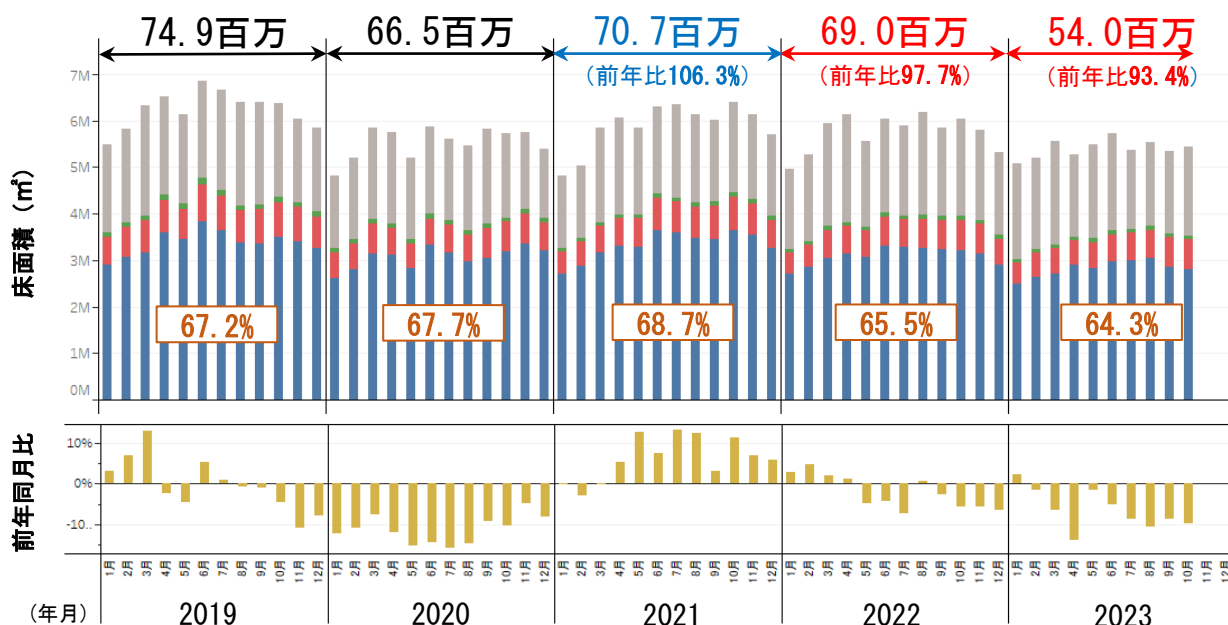
(単位：戸)					
構造別の 着工戸数	2023年 1～10月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	688,799	719,908	95.7%	714,677	96.4%
■ 非木造	308,857	321,154	96.2%	298,088	103.6%
木造	379,942	398,754	95.3%	416,589	91.2%
■ 木造プレハブ	8,690	8,358	104.0%	8,709	99.8%
■ 2×4	75,570	75,869	99.6%	79,676	94.8%
■ 在来軸組	295,682	314,527	94.0%	328,204	90.1%
□ 木造率	55.2%	55.4%		58.3%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

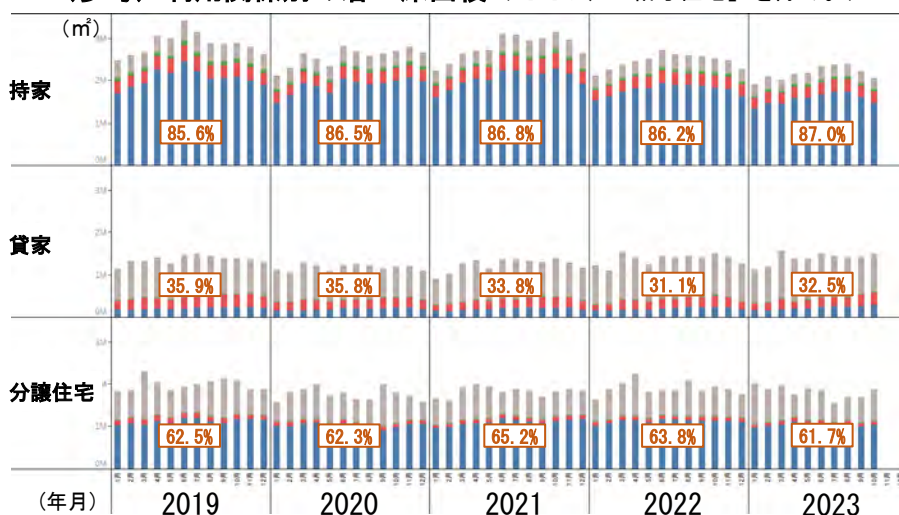
- 2022年の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。
- 2023年1～10月の新設住宅着工床面積は、54.0百万㎡（前年同期比93.4%）、このうち木造住宅は34.7百万㎡（同92.0%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2023年 1～10月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	54,041	57,876	93.4%	58,821	91.9%
■ 非木造	19,295	20,104	96.0%	18,519	104.2%
木造	34,746	37,771	92.0%	40,302	86.2%
■ 木造プレハブ	828	827	100.2%	888	93.2%
■ 2×4	5,698	5,841	97.6%	6,255	91.1%
■ 在来軸組	28,220	31,104	90.7%	33,158	85.1%
□ 木造率	64.3%	65.3%		68.5%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

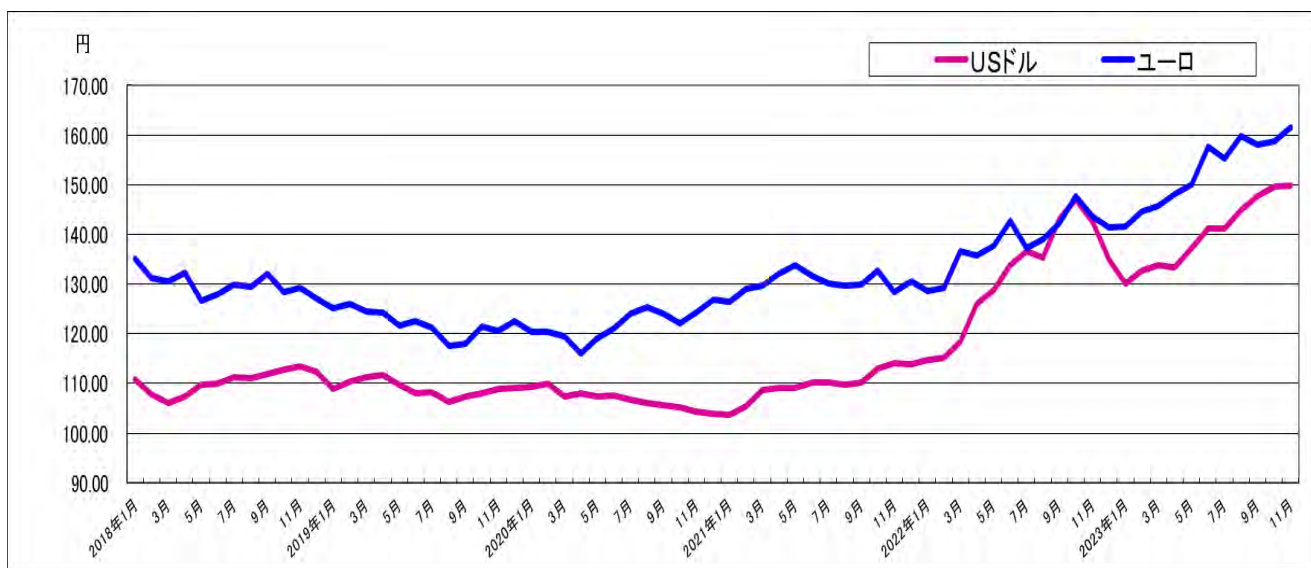
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。
- 2023年1～10月は、木材産業の倒産件数が21件（前年同期比191%）、負債金額が4,166百万円（同58%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2020年	1	773	116	124,734	74	0	—	0	—
	2	651	111	71,283	36	0	—	0	—
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	—	180	—
	2	446	69	67,490	95	0	—	0	—
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	—	0	—
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	—	0	—
	11	510	90	94,101	92	0	—	0	—
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	—	0	—
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	—	0	—
	7	494	104	84,570	118	0	—	0	—
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	—	200	—
	11	581	114	115,589	123	1	—	86	—
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	—	154	—
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	—	571	—
	7	758	153	162,137	192	3	—	339	—
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	—	0	—
	10	793	133	308,010	354	0	—	0	—
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2023年11月の為替相場は、1ドル149.83円、1ユーロ161.51円。



(単位:円)

年 月	USドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

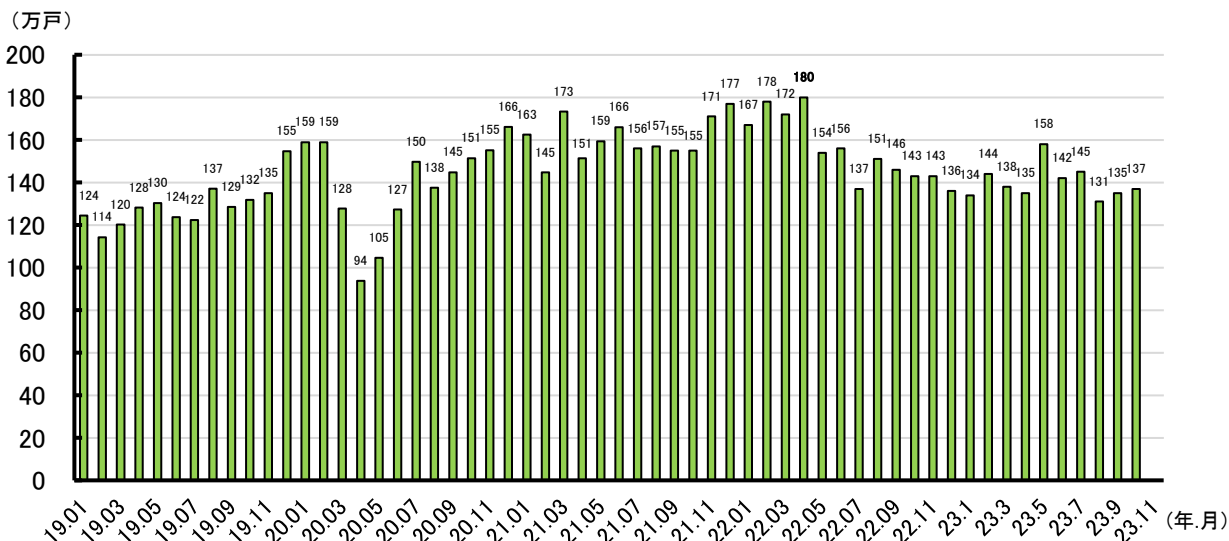
(単位:円)

年 月	USドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04
6月	141.19	157.60
7月	141.21	155.35
8月	144.77	159.84
9月	147.67	158.00
10月	149.53	158.66
11月	149.83	161.51

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

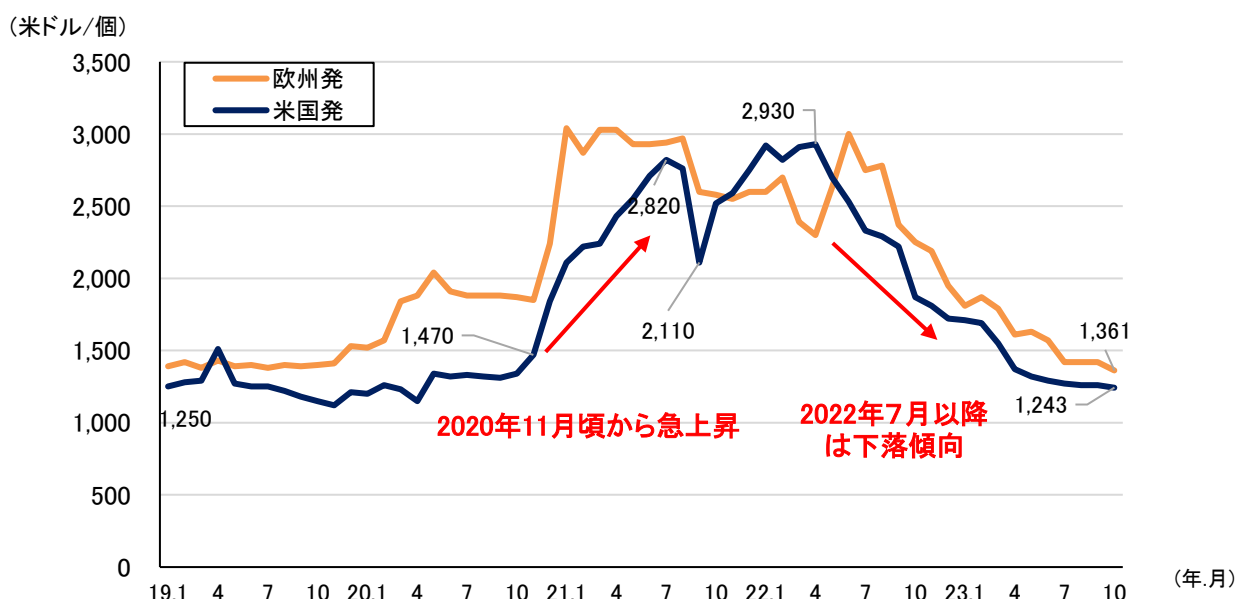
- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後、コロナ禍による在宅需要増加と住宅ローン金利低下により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には180万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利の急騰により下落傾向となり、2023年10月は前月比102%の約137万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続き、2019年頃の水準に近づく。

○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

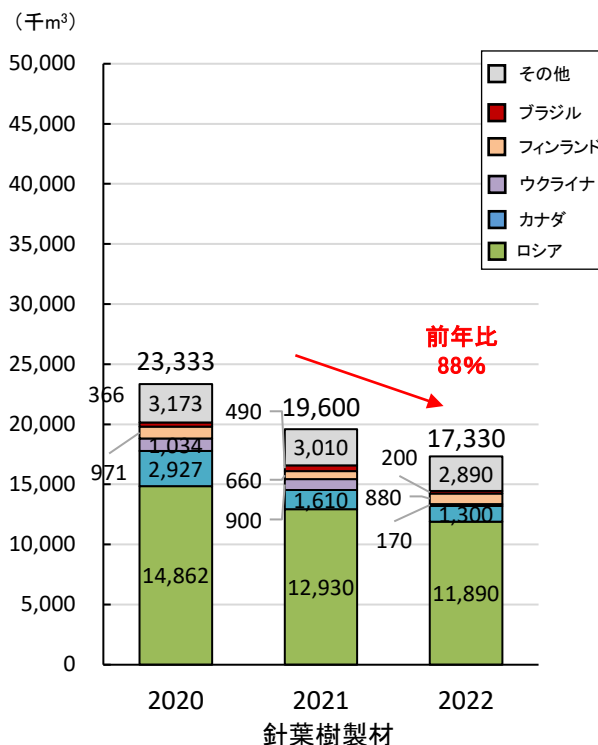
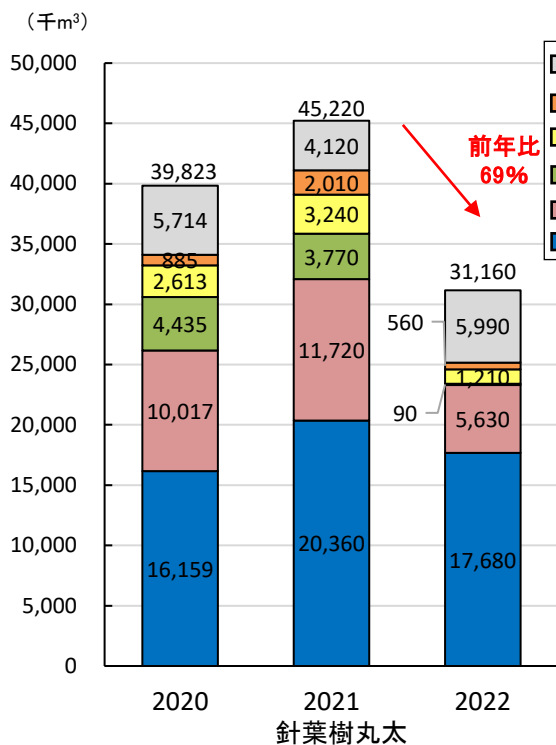
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

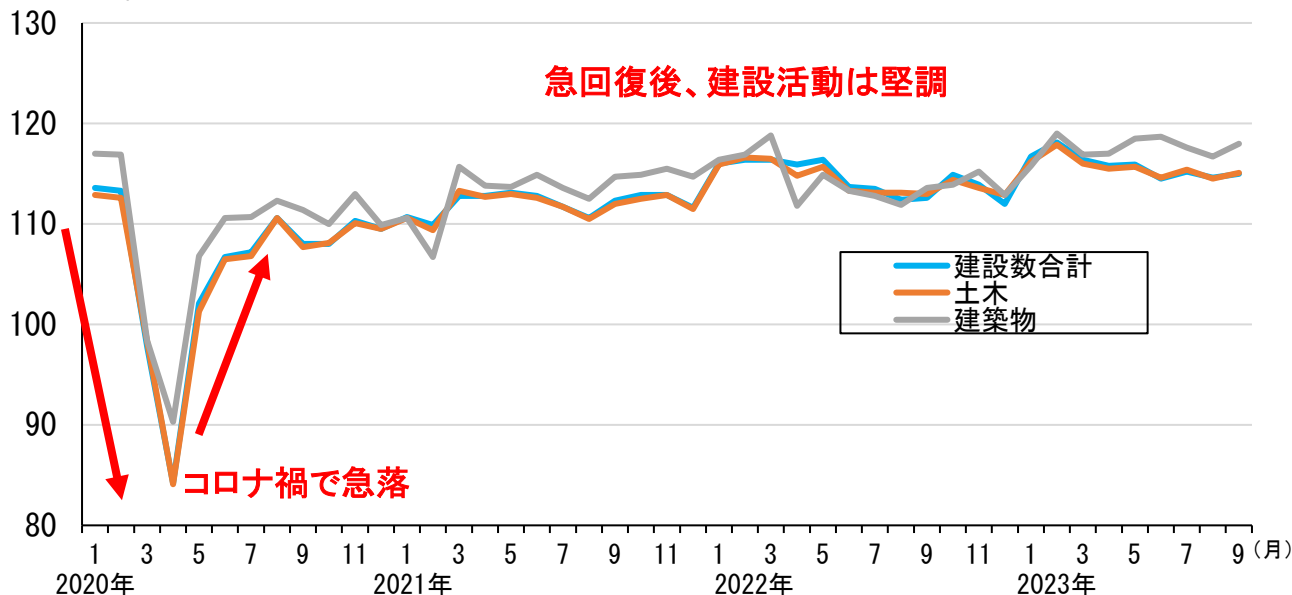
- 2022年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比69%の31,160千m³。針葉樹製材輸入量は、前年比88%の17,330千m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量（2020年～2022年）



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5), Vol.27 (3) (4))

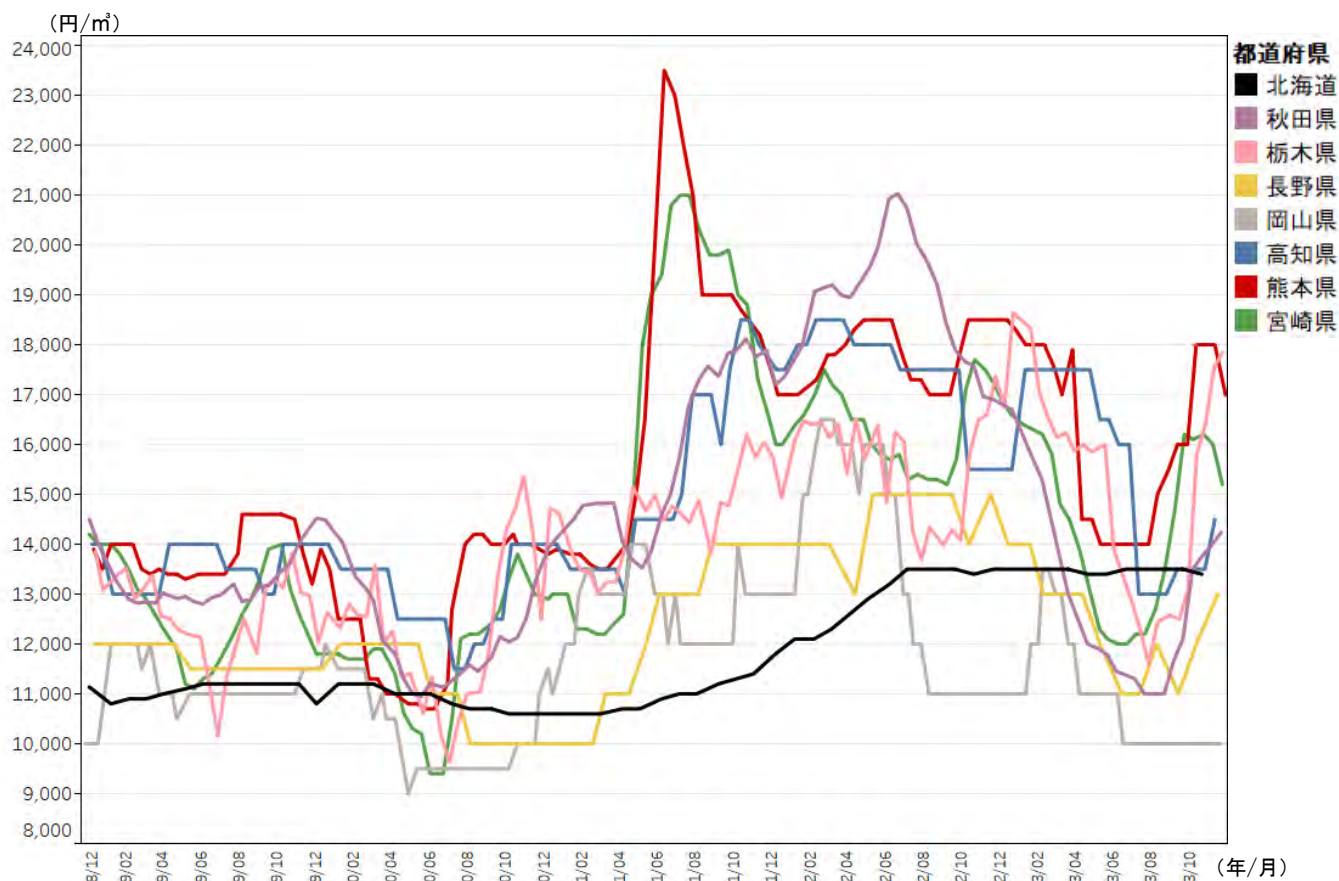
○EUにおける建設活動水準（2015年比）
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報- 1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円～17,840円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

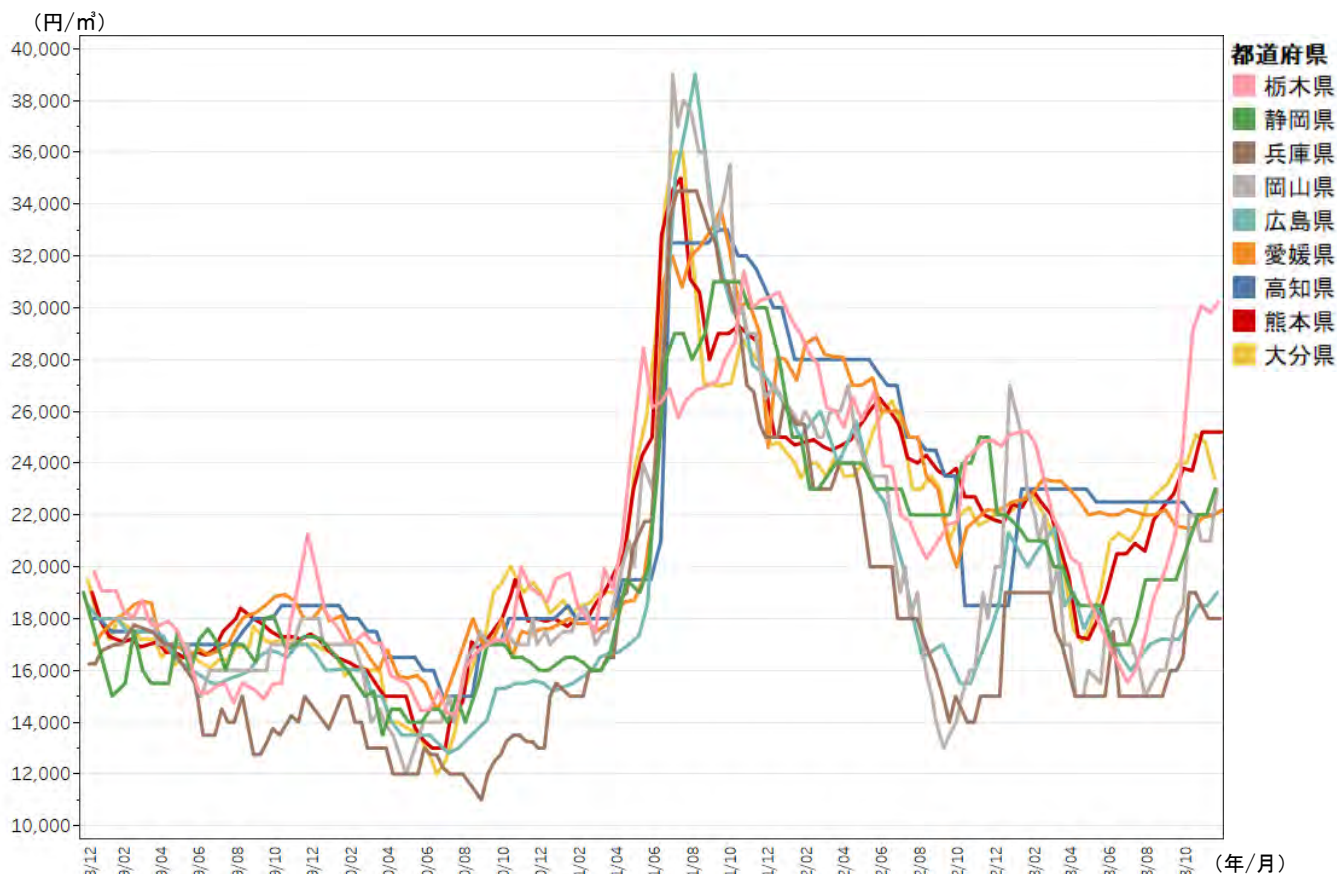
（単位：円/㎡）

都道府県	2023年 直近※	前年 同期	前年 同期比
■ 北海道	13,400	13,400	100%
■ 秋田県	14,240	16,900	84%
■ 栃木県	17,840	17,360	103%
■ 長野県	13,000	15,000	87%
■ 岡山県	10,000	11,000	91%
■ 高知県	14,500	15,500	94%
■ 熊本県	17,000	18,500	92%
■ 宮崎県	15,200	17,200	88%

※北海道については10月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については11月の値を使用。

木材価格情報- 1 ヒノキ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～30,200円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2023年 直近※	前年 同期	前年 同期比
栃木県	30,200	24,880	121%
静岡県	23,000	25,000	92%
兵庫県	18,000	15,000	120%
岡山県	23,000	18,000	128%
広島県	19,000	17,500	109%
愛媛県	22,200	22,150	100%
高知県	22,000	18,500	119%
熊本県	25,200	21,800	116%
大分県	23,400	21,800	107%

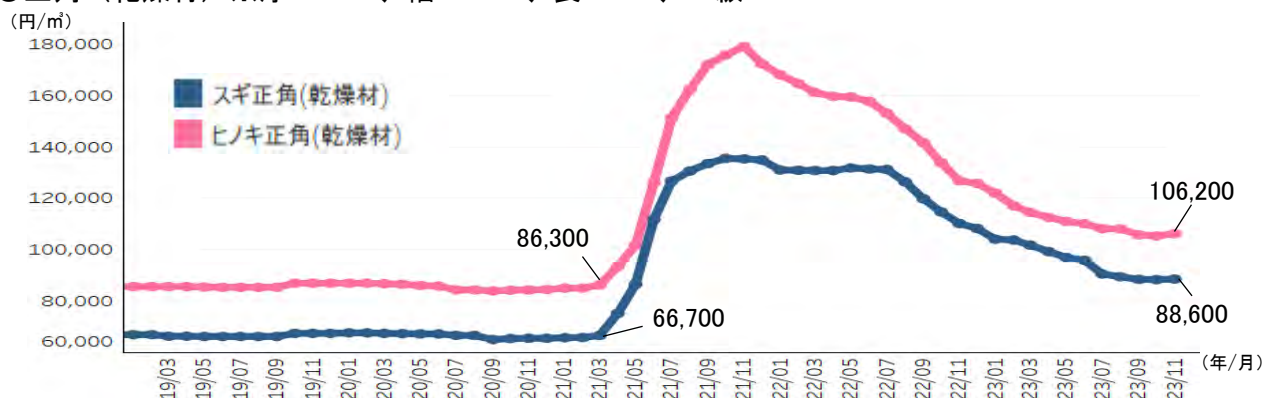
※各県11月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

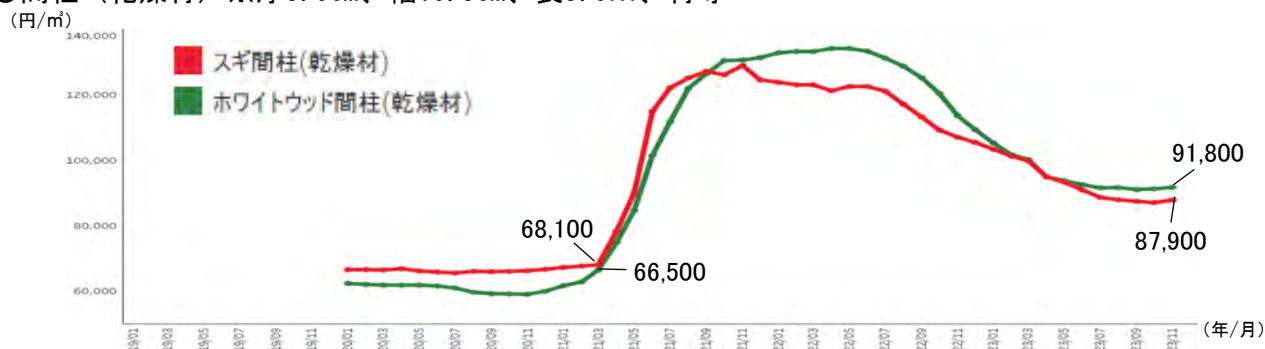
- 2023年11月の正角（乾燥材）の価格について、スギは88,600円/㎥（前年同期比80%）、ヒノキは106,200円/㎥（同84%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは87,900円/㎥（前年同期比82%）、ホワイトウッドは91,800円/㎥（同81%）。
- 本年9月の針葉樹合板の価格は、1,880円/枚（前年同月比80%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
（速報値は今後修正される可能性がある）

木材需給情報-1 木材需要の動向（2022年木材需給表）

- 木材の総需要量は、85,094千 m^3 （対前年比103.6%）となった。内訳は、用材が67,494千 m^3 （同100.5%）、しいたけ原木が209千 m^3 （同85.0%）、燃料材が17,390千 m^3 （同118.0%）である。
- 国内消費量は、82,052千 m^3 （対前年比104.0%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、燃料材の+2,647千 m^3 （同118.0%）、パルプ・チップ用材の+820千 m^3 （同103.0%）である。
- 輸出量は、3,042千 m^3 （対前年比93.6%）となった。この中で、前年に比べて減少量が大きかったものは、丸太（用材）の△135千 m^3 （同90.7%）、製材品等の△45千 m^3 （同86.6%）である。

木 材 需 要 の 動 向

区 分			2022年		2021年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 比 (%)
			数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製 材 用 材	26,263	30.9	26,179	31.9	84	100.3
		合 板 用 材	9,820	11.5	10,294	12.5	△ 474	95.4
		ハ゜ルフ゜・チップ゜用 材	29,547	34.7	28,743	35.0	804	102.8
		そ の 他 用 材	1,865	2.2	1,926	2.3	△ 61	96.8
		小 計	67,494	79.3	67,142	81.8	352	100.5
	し い た け 原 木		209	0.2	246	0.3	△ 37	85.0
	燃 料 材		17,390	20.4	14,742	17.9	2,648	118.0
計			85,094	100.0	82,130	100.0	2,964	103.6
国 内 消 費	用 材	製 材 用 材	25,973	31.7	25,844	32.8	129	100.5
		合 板 用 材	9,596	11.7	10,056	12.7	△ 460	95.4
		ハ゜ルフ゜・チップ゜用 材	28,349	34.6	27,529	34.9	820	103.0
		そ の 他 用 材	539	0.7	466	0.6	73	115.7
		小 計	64,457	78.6	63,895	81.0	562	100.9
	し い た け 原 木		209	0.3	246	0.3	△ 37	85.0
	燃 料 材		17,385	21.2	14,738	18.7	2,647	118.0
計			82,052	100.0	78,879	100.0	3,173	104.0
輸 出	用 材	丸 太	1,324	43.5	1,459	44.9	△ 135	90.7
		製 材 品 等	290	9.5	335	10.3	△ 45	86.6
		合 板 等	224	7.4	237	7.3	△ 13	94.5
		木 材 ハ゜ルフ゜・チップ゜等	1,197	39.4	1,214	37.3	△ 17	98.6
		そ の 他	2	0.1	2	0.1	0	100.0
	小 計	3,038	99.9	3,247	99.9	△ 209	93.6	
	燃 料 材		5	0.1	4	0.1	1	125.0
計			3,042	100.0	3,251	100.0	△ 209	93.6

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材供給の動向（2022年木材需給表）

- 木材の総供給量は、85,094千 m^3 （対前年比103.6%）となった。内訳は、用材が67,494千 m^3 （同100.5%）、しいたけ原木が209千 m^3 （同85.0%）、燃料材が17,390千 m^3 （同118.0%）である。
- 国内生産量は、34,617千 m^3 （対前年比102.7%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、燃料材の+916千 m^3 （同109.8%）である。
- 輸入量は、50,477千 m^3 （対前年比104.3%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、燃料材の+1,732千 m^3 （同132.1%）、木材チップ等の+741千 m^3 （同103.9%）である。一方で、合板等は△736千 m^3 （同85.8%）と減少した。

木材供給の動向

区 分			2022年		2021年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総供給量	用材	丸 太	27,678	32.5	27,845	33.9	△ 167	99.4
		林地残材	94	0.1	161	0.2	△ 67	58.4
		輸入木材製品	39,723	46.7	39,136	47.7	587	101.5
		小 計	67,494	79.3	67,142	81.8	352	100.5
		しいたけ原木	209	0.2	246	0.3	△ 37	85.0
	燃料材	燃 料 材	17,390	20.4	14,742	17.9	2,648	118.0
		計	85,094	100.0	82,130	100.0	2,964	103.6
国内生産	用材	丸 太	24,050	69.5	23,966	71.1	84	100.4
		林地残材	94	0.3	161	0.5	△ 67	58.4
		小 計	24,144	69.7	24,127	71.5	17	100.1
	しいたけ原木	燃 料 材	10,264	29.7	9,348	27.7	916	109.8
		計	34,617	100.0	33,721	100.0	896	102.7
		燃 料 材	10,264	29.7	9,348	27.7	916	109.8
輸 入	用材	丸 太	3,628	7.2	3,879	8.0	△ 251	93.5
		製材品等	10,158	20.1	9,903	20.5	255	102.6
		合板等	4,465	8.8	5,201	10.7	△ 736	85.8
		木材パルプ	5,055	10.0	4,799	9.9	256	105.3
		木材チップ等	19,925	39.5	19,184	39.6	741	103.9
		その他の	120	0.2	49	0.1	71	244.9
		細 計	39,723	78.7	39,136	80.8	587	101.5
	燃料材	小 計	43,351	85.9	43,015	88.9	336	100.8
		燃 料 材	7,126	14.1	5,394	11.1	1,732	132.1
		計	50,477	100.0	48,409	100.0	2,068	104.3

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2022年木材需給表）

- ・ 建築用材等の自給率は、国内生産が増加したこと等により、対前年比で1.5ポイント上昇し、49.5%となった。
- ・ 非建築用材等の自給率は、燃料材及びパルプ・チップ用材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で1.3ポイント低下し、34.2%となった。
- ・ これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.4ポイント低下し、40.7%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量÷総需要量（※）×100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木 材 自 給 率 の 動 向

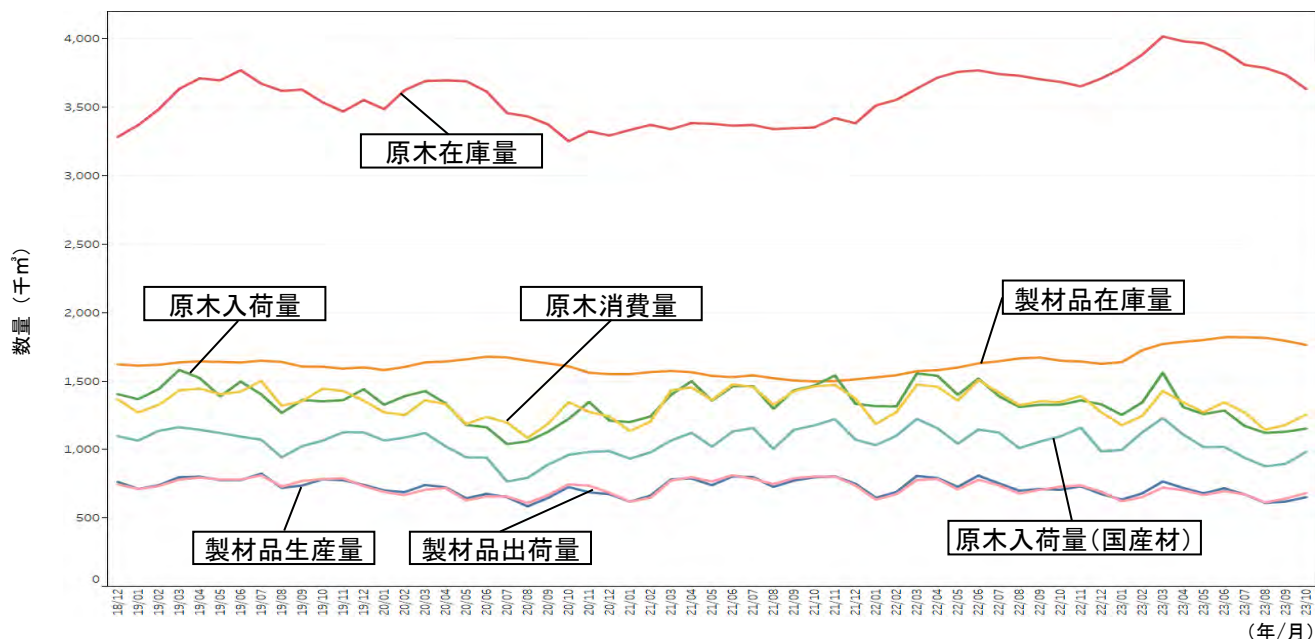
区 分			2022年	2021年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)	
			数 量 (千m ³)	数 量 (千m ³)			
建築用材等			国 内 生 産	17,849	17,522	327	101.9
			輸 入	18,234	18,951	△ 717	96.2
			総 需 要	36,083	36,473	△ 390	98.9
			自 給 率	49.5%	48.0%	1.5ポ ^ン ト	
用材	製 材 用 材	国 内 生 産	12,937	12,861	76	100.6	
		輸 入	13,326	13,318	8	100.1	
		総 需 要	26,263	26,179	84	100.3	
		自 給 率	49.3%	49.1%	0.2ポ ^ン ト		
	合 板 用 材	国 内 生 産	4,912	4,661	251	105.4	
		輸 入	4,908	5,633	△ 725	87.1	
		総 需 要	9,820	10,294	△ 474	95.4	
		自 給 率	50.0%	45.3%	4.7ポ ^ン ト		
非建築用材等			国 内 生 産	16,768	16,199	569	103.5
			輸 入	32,243	29,458	2,785	109.5
			総 需 要	49,011	45,658	3,353	107.3
			自 給 率	34.2%	35.5%	△ 1.3ポ ^ン ト	
用材	パ ^ル プ ・チ ^ッ プ 用 材	国 内 生 産	4,563	4,744	△ 181	96.2	
		輸 入	24,983	24,000	983	104.1	
		総 需 要	29,547	28,743	804	102.8	
		自 給 率	15.4%	16.5%	△ 1.1ポ ^ン ト		
	その他 用 材	国 内 生 産	1,732	1,862	△ 130	93.0	
		輸 入	134	65	69	206.2	
		総 需 要	1,865	1,926	△ 61	96.8	
		自 給 率	92.8%	96.6%	△ 3.8ポ ^ン ト		
しいたけ 原 木			国 内 生 産	209	246	△ 37	85.0
			輸 入	-	-	-	-
			総 需 要	209	246	△ 37	85.0
			自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ ^ン ト	
燃料材			国 内 生 産	10,264	9,348	916	109.8
			輸 入	7,126	5,394	1,732	132.1
			総 需 要	17,390	14,742	2,648	118.0
			自 給 率	59.0%	63.4%	△ 4.4ポ ^ン ト	
総 数			国 内 生 産	34,617	33,721	896	102.7
			輸 入	50,477	48,409	2,068	104.3
			総 需 要	85,094	82,130	2,964	103.6
			自 給 率	40.7%	41.1%	△ 0.4ポ ^ン ト	
うち 用材の計			国 内 生 産	24,144	24,127	17	100.1
			輸 入	43,351	43,015	336	100.8
			総 需 要	67,494	67,142	352	100.5
			自 給 率	35.8%	35.9%	△ 0.1ポ ^ン ト	

資料：林野庁「木材需給表」

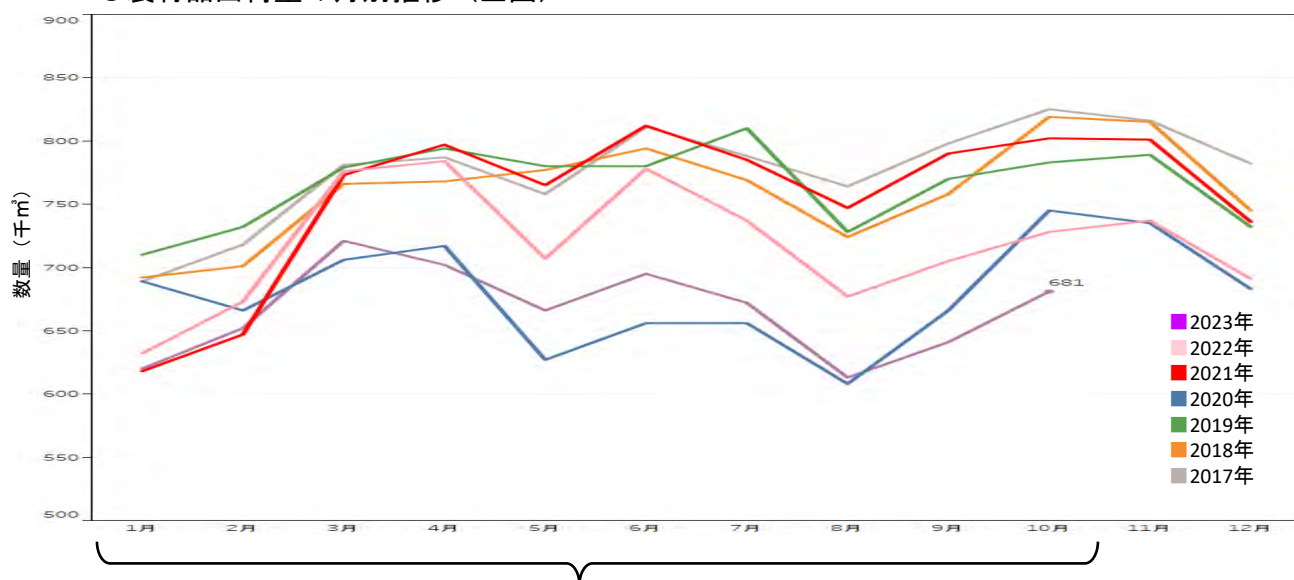
注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～10月の原木の入荷量は、12,579千m³（2019年比 89%）。
- 同様に製材品の出荷量は、6,663千m³（2019年比 87%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



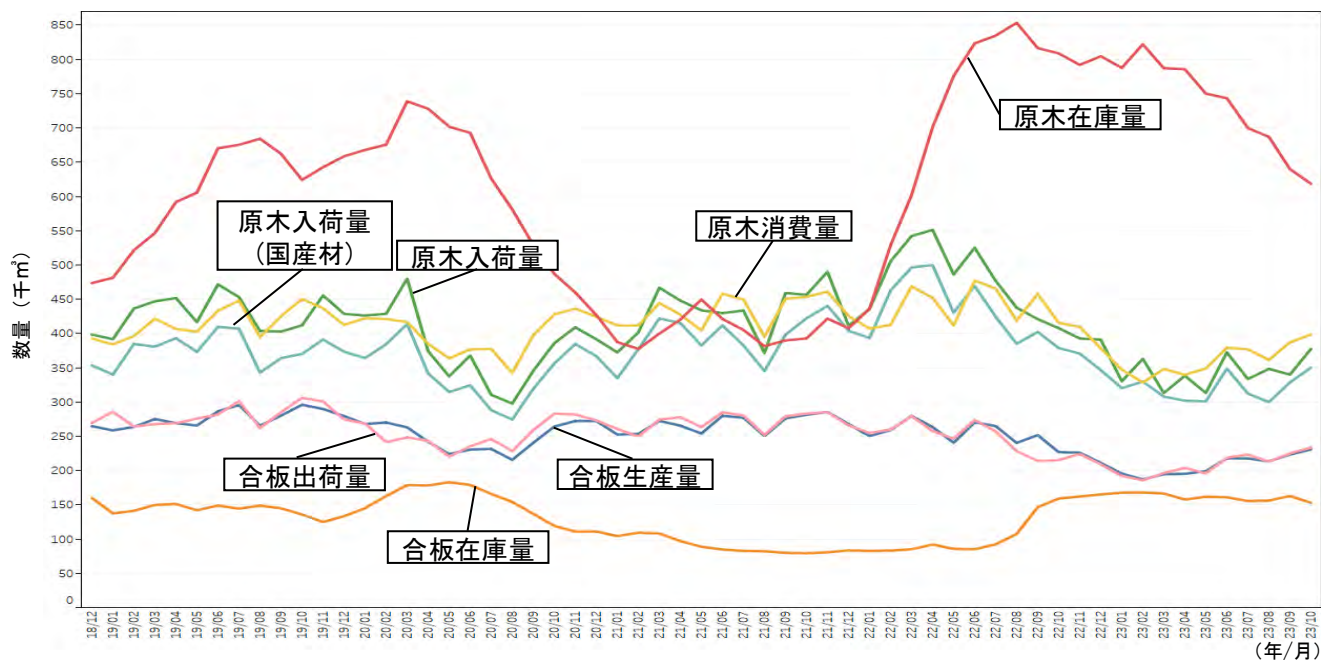
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～10月原木入荷 合計(千m ³)	13,722	13,715	14,174	12,268	13,812	13,990	12,579
2019年との比較※	97%	97%	—	87%	97%	99%	89%
1～10月出荷量 合計(千m ³)	7,719	7,568	7,666	6,736	7,536	7,197	6,663
2019年との比較※	101%	99%	—	88%	98%	94%	87%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

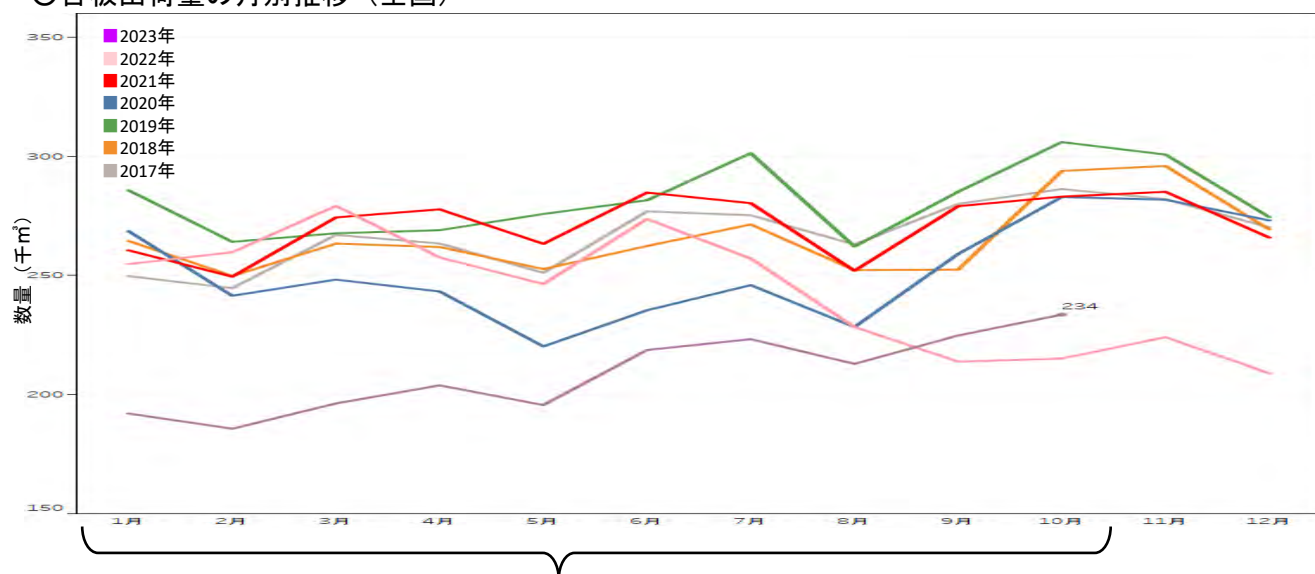
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～10月の原木の入荷量は、3,429千 m^3 （2019年比 80%）。
- 同様に合板の出荷量は、2,087千 m^3 （2019年比 75%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

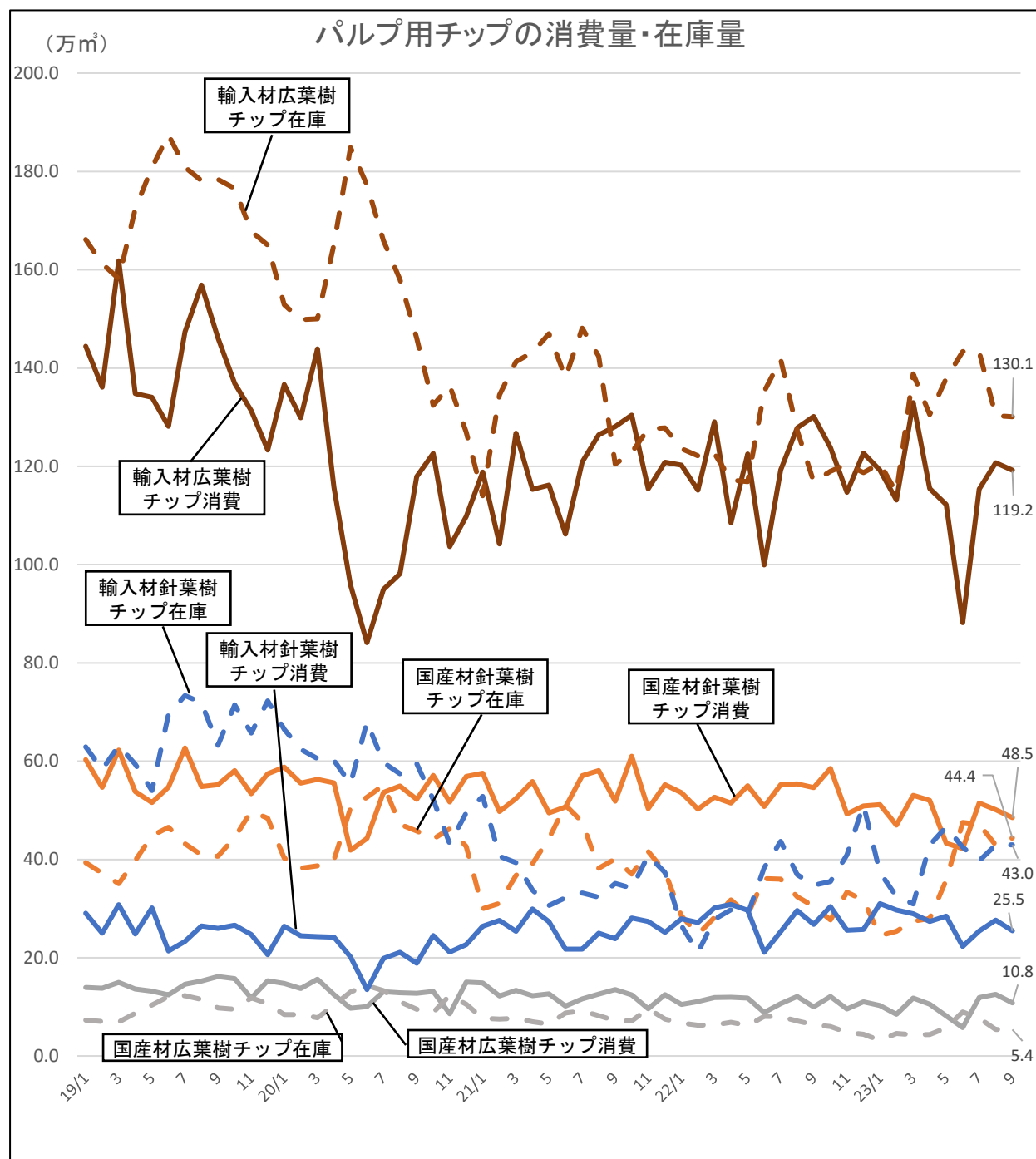


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～10月原木入荷量 合計(千 m^3)	3,827	4,113	4,285	3,753	4,272	4,788	3,429
2019年との比較※	89%	96%	—	88%	100%	112%	80%
1～10月出荷量 合計(千 m^3)	2,657	2,625	2,798	2,473	2,705	2,486	2,087
2019年との比較※	95%	94%	—	88%	97%	89%	75%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

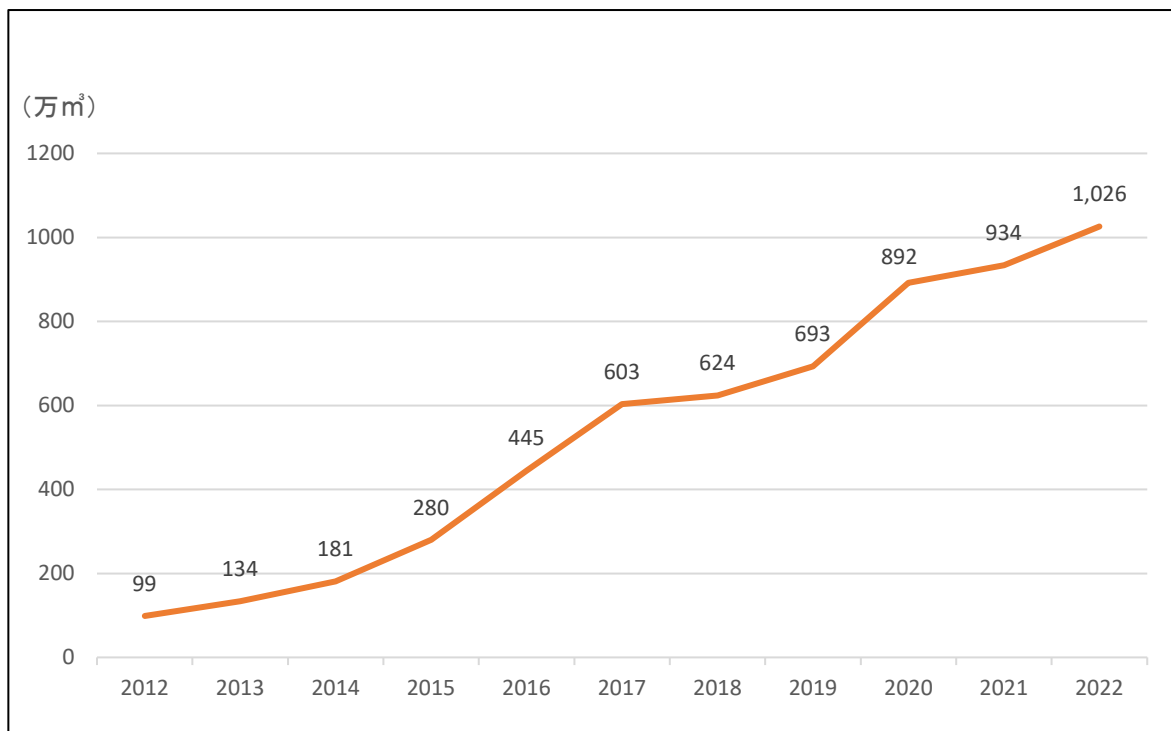
- パルプ用チップの消費について、2023年9月の輸入材広葉樹チップの消費量は119.2万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は48.5万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約10倍)。
- 2023年10月の紙の生産高は86万トン。板紙の生産高は101万トンとなっている。

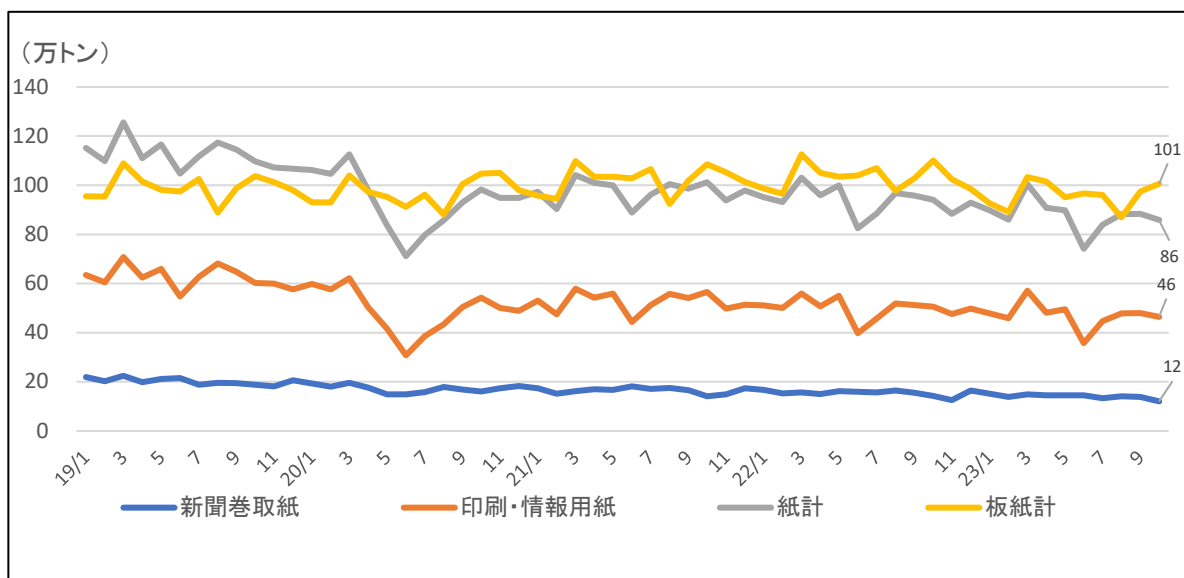
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

- 2022年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,208万m³。

単位：千m³

全 国 ・ 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
						スギ	
全 国	22,082	12,937	4,912	4,233	20,386	13,238	1,696
北 海 道	3,335	1,707	706	922	2,774	75	561
青 森	979	361	386	232	942	827	37
岩 手	1,461	470	615	376	1,278	788	183
宮 城	685	218	302	165	637	595	48
秋 田	1,223	524	524	175	1,160	1,112	63
山 形	364	255	68	41	349	339	15
福 島	950	539	81	330	820	668	130
茨 城	455	387	8	60	421	330	34
栃 木	577	463	10	104	523	407	54
群 馬	213	149	27	37	196	145	17
埼 玉	x	30	x	x	42	29	x
千 葉	91	25	8	58	65	48	26
東 京	49	x	x	19	x	30	x
神 奈 川	8	8	0	-	8	5	0
新 潟	156	101	38	17	153	153	3
富 山	70	34	20	16	66	60	4
石 川	113	51	43	19	103	93	10
福 井	139	61	39	39	135	121	4
山 梨	141	19	69	53	122	29	19
長 野	467	189	231	47	461	99	6
岐 阜	391	258	69	64	381	221	10
静 岡	332	191	119	22	330	156	2
愛 知	157	100	x	x	151	82	6
三 重	327	191	76	60	319	190	8
滋 賀	65	14	15	36	53	34	12
京 都	171	46	37	88	149	103	22
大 阪	22	8	-	14	19	11	3
兵 庫	378	91	144	143	364	249	14
奈 良	121	94	9	18	119	70	2
和 歌 山	188	145	29	14	188	124	-
鳥 取	186	65	50	71	163	128	23
島 根	339	102	x	x	296	205	43
岡 山	406	333	28	45	382	131	24
広 島	331	121	76	134	235	122	96
山 口	246	125	x	x	224	151	22
徳 島	307	161	x	x	299	242	8
香 川	24	5	-	19	19	4	5
愛 媛	563	510	x	x	561	343	2
高 知	592	436	x	x	588	255	4
福 岡	186	155	9	22	179	129	7
佐 賀	148	116	6	26	138	83	10
長 崎	129	75	x	x	109	55	20
熊 本	957	744	125	88	935	720	22
大 分	1,198	889	288	21	1,194	1,018	4
宮 崎	2,031	1,869	96	66	2,011	1,878	20
鹿 児 島	743	483	145	115	679	581	64
沖 縄	x	x	-	x	x	-	x

資料：農林水産省「令和4年木材統計」（2023年6月30日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都 道 府 県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		針葉樹	スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ		
北 海 道	3,145	2,652	42	-	1	2,573	493	-
青 森	863	811	684	0	39	52	51	-
岩 手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	-
宮 城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋 田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	-
山 形	317	312	298	0	2	13	5	-
福 島	853	765	484	211	29	37	86	-
茨 城	547	528	283	242	2	0	19	-
栃 木	851	774	453	306	6	3	70	2
群 馬	283	271	186	51	3	29	11	-
埼 玉	67	49	24	24	0	1	17	-
千 葉	43	30	22	7	-	-	11	3
東 京	41	36	20	11	-	1	5	-
神 奈 川	13	13	6	6	-	-	1	-
新 潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富 山	118	104	92	11	0	1	14	-
石 川	135	126	101	11	3	0	9	0
福 井	116	114	108	5	1	0	2	0
山 梨	120	99	28	17	11	34	10	-
長 野	648	623	101	107	36	376	9	-
岐 阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静 岡	638	638	189	400	1	2	0	-
愛 知	171	163	75	74	0	11	9	-
三 重	445	443	158	282	3	-	1	-
滋 賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京 都	162	140	90	48	0	-	17	5
大 阪	x	11	5	6	0	-	x	-
兵 庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈 良	201	200	77	124	-	-	0	0
和 歌 山	231	224	124	98	0	-	5	2
鳥 取	262	248	167	75	5	0	14	-
島 根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡 山	726	698	90	603	2	-	24	3
広 島	467	423	159	251	13	0	43	-
山 口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳 島	352	346	242	104	0	-	6	0
香 川	13	10	1	10	0	-	2	0
愛 媛	809	808	383	425	0	0	-	0
高 知	702	700	281	382	0	-	2	1
福 岡	239	234	157	75	1	-	5	0
佐 賀	237	229	113	116	0	-	8	0
長 崎	195	182	72	110	-	-	13	-
熊 本	1,684	1,657	1,107	549	0	-	20	7
大 分	1,709	1,690	1,332	358	1	-	9	4
宮 崎	3,217	3,206	2,980	224	1	-	10	-
鹿 児 島	970	902	725	172	1	-	52	15
沖 縄	x	0	-	-	-	-	x	-
合 計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

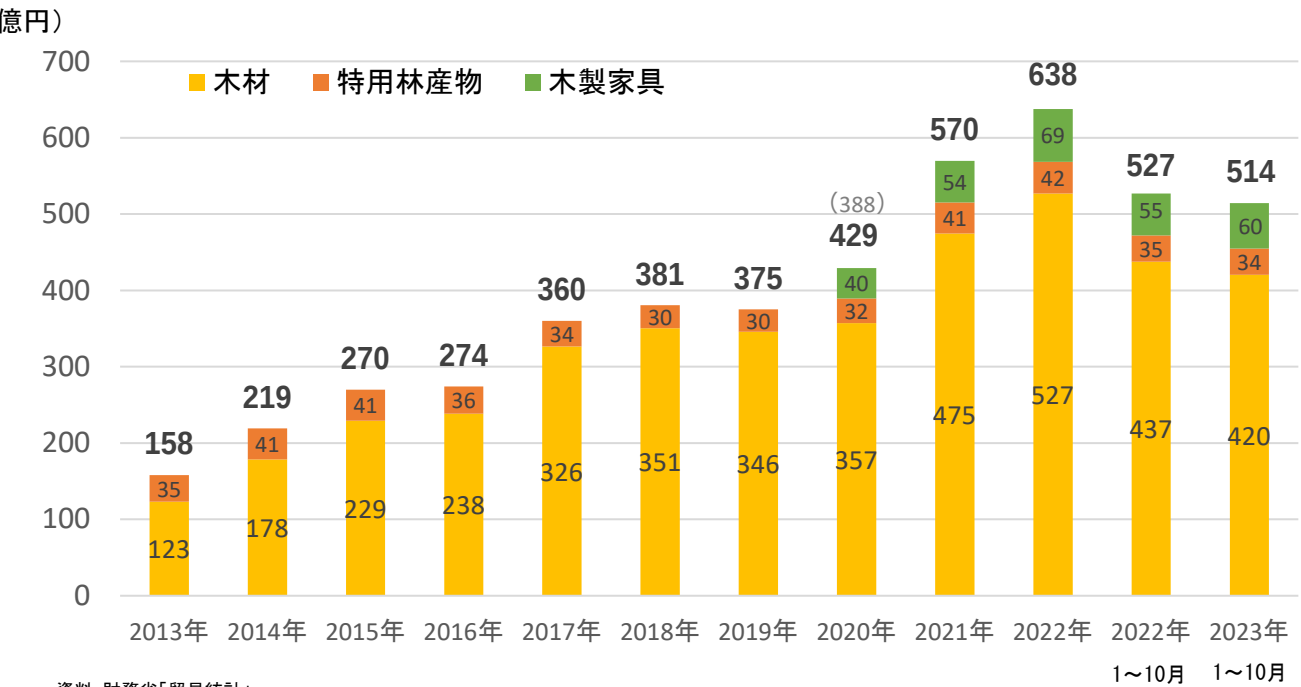
「x」：個人又は法人その他の団体にに関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

林産物輸出入情報- 1

林産物輸出額

- 2023年10月の林産物輸出額は、52億円（前年同期比97%）となった。
- 内訳は、木材が42億円（同96%）、特用林産物が4億円（同103%）、木製家具が7億円（同104%）となった。
- 2023年1～10月の林産物輸出額は、514億円（前年同期比98%）となった。内訳は、木材が420億円（同96%）、特用林産物が34億円（同100%）、木製家具が60億円（同108%）となった。

○林産物輸出の推移



資料:財務省「貿易統計」
※特用林産物には、きのこ(はらたけ属以外)、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。
※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目(木製家具、調整・保存処理したきのこ等)を含まない数字。
※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

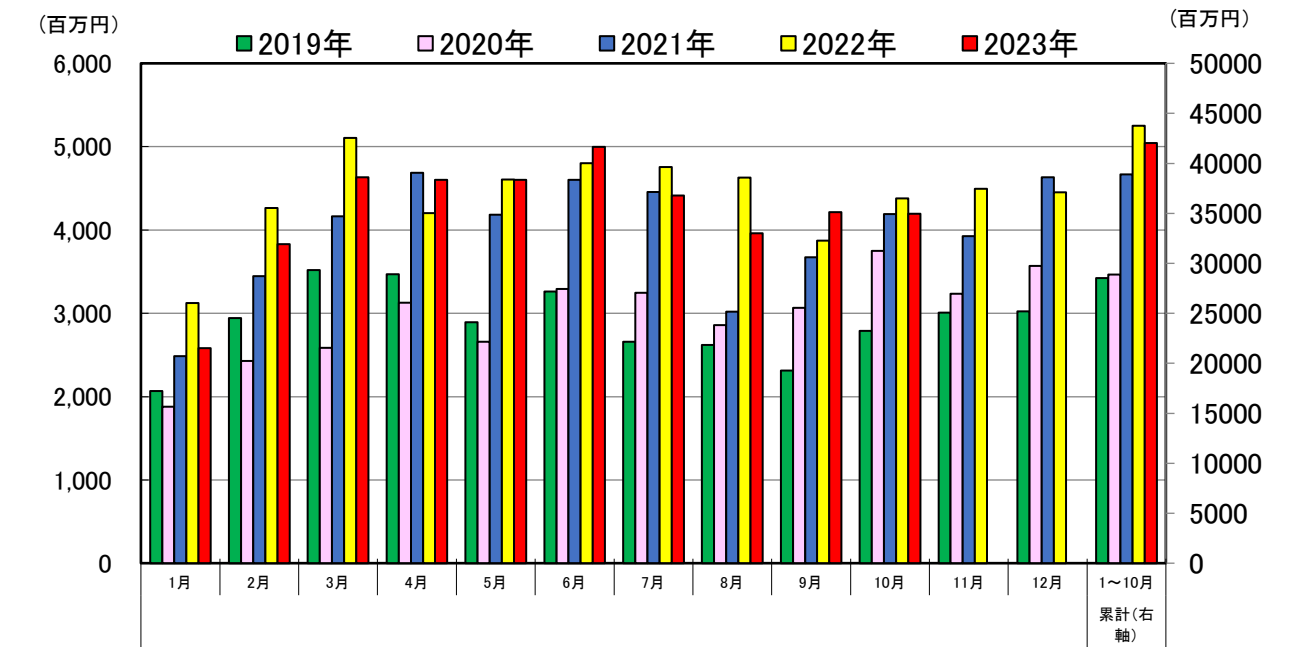
(億円)

	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4	47	94%	114%	38	3	5
3月	61	51	4	6	55	91%	109%	46	3	6
4月	51	42	3	5	56	110%	101%	46	3	7
5月	55	46	3	5	55	101%	114%	46	3	6
6月	58	48	4	6	60	105%	112%	50	4	7
7月	58	48	4	7	55	95%	106%	44	4	7
8月	56	46	3	6	48	87%	129%	40	3	5
9月	48	39	4	6	52	109%	116%	42	4	6
10月	54	44	4	6	52	97%	102%	42	4	7
11月	55	45	4	7						
12月	56	45	4	7						
10月累計	527	437	35	55	514	98%	110%	420	34	60

資料:財務省貿易統計

- 2023年10月の木材輸出額は42億円（前年同期比96%）、1～10月累計の木材輸出額は420億円（前年同期比96%）となった。
- 1～10月累計輸出額の前年同期比をみると、品目別では丸太が増加しており、丸太は、中国向けが120%となっている。合板は年初来で初めて累計の輸出額が前年を下回った。製材は前年を下回って推移しており、フィリピン、米国、韓国向けの減少が大きい。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	10月 単月					1～10月累計				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	2,189	122%	1,817	151	21	20,533	114%	16,550	1,209	209
			129%	109%	125%			120%	90%	69%
韓国	214	91%	84	31	5	2,318	74%	1,351	417	16
			76%	102%	436%			77%	51%	44%
台湾	183	80%	82	38	1	2,212	96%	1,040	554	9
			86%	57%	58%			84%	101%	339%
米国	422	79%	0	207	0	4,417	85%	4	1,833	9
			—	126%	—			—	71%	82%
フィリピン	902	68%	0	177	674	9,565	80%	0	825	8,218
			—	98%	62%			—	31%	98%
その他	286	104%	18	48	5	2,992	95%	142	495	31
			114%	119%	223%			55%	100%	55%
総計	4,196	96%	2,001	652	706	42,037	96%	19,088	5,331	8,493
			123%	105%	63%			112%	66%	97%

※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



林産物輸出入情報-3 木材輸入額

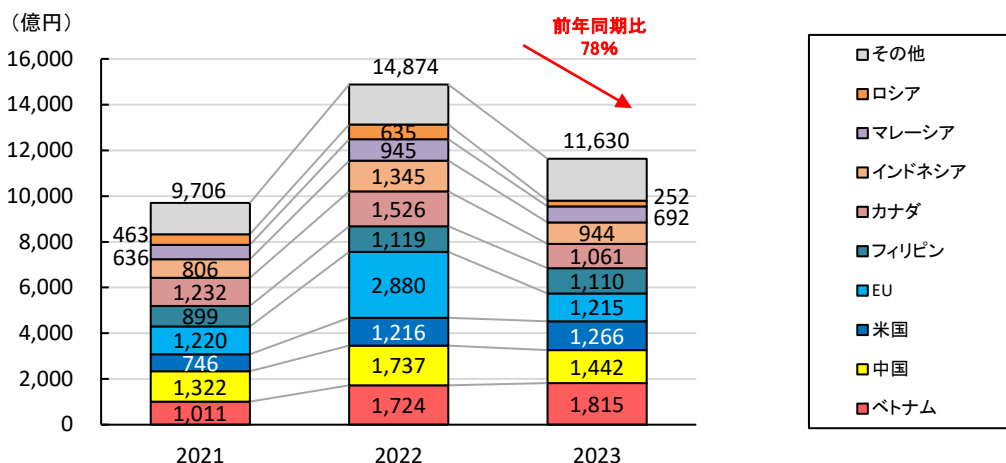
- 2023年10月の木材輸入額は、前月比100%、前年同月比77%の1,178億円となった。
- 2023年1～10月の木材輸入額累計は、前年同期比78%の1兆1,630億円となった。

○2023年10月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
世界計	17,521	1,180	1,178	100%	77%	14,874	11,630	78%
E U	3,227	121	98	81%	40%	2,880	1,215	42%
(フィンランド)	1,080	36	26	73%	34%	958	369	39%
(スウェーデン)	688	24	13	56%	27%	610	239	39%
ベトナム	2,119	208	198	95%	94%	1,724	1,815	105%
中国	2,071	142	148	104%	83%	1,737	1,442	83%
カナダ	1,761	114	118	103%	77%	1,526	1,061	70%
インドネシア	1,584	96	101	105%	63%	1,345	944	70%
米国	1,458	79	141	179%	121%	1,216	1,266	104%
フィリピン	1,348	109	128	118%	105%	1,119	1,110	99%
マレーシア	1,117	80	72	90%	90%	945	692	73%
ロシア	685	29	23	78%	86%	635	252	40%
その他	2,152	201	150	75%	66%	1,748	1,833	105%
我が国の総輸入額	1,181,642	91,337	98,081	107%	88%	970,555	909,858	94%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.29%	1.20%			1.53%	1.28%	

○2021～2023年の1～10月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

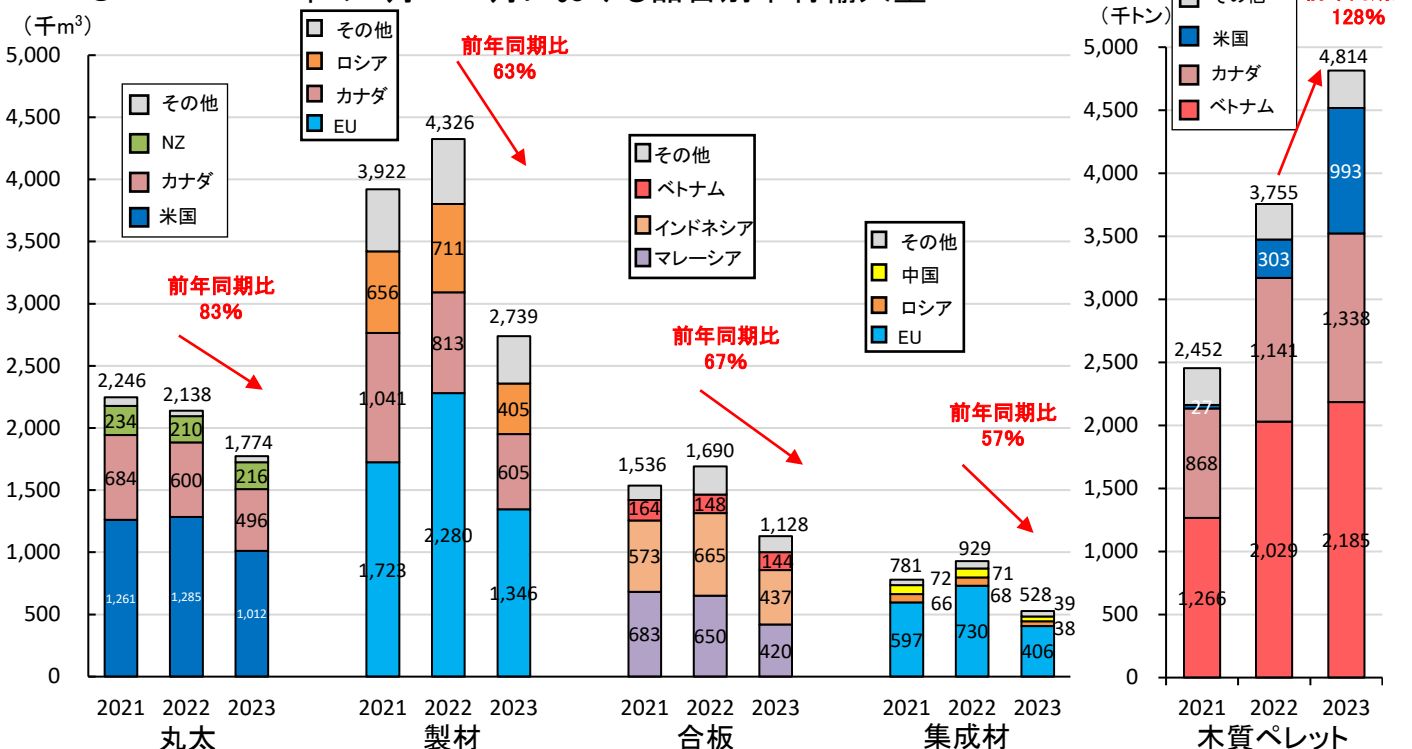
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2023年1月～10月累計の品目別輸入量は、丸太が前年同期比83%、製材が63%、合板が67%、集成材が57%、木質ペレットが128%となった。なお、2021年同期比では、丸太が79%、製材が70%、合板が73%、集成材が68%、木質ペレットが196%となった。
- 2022年における品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。

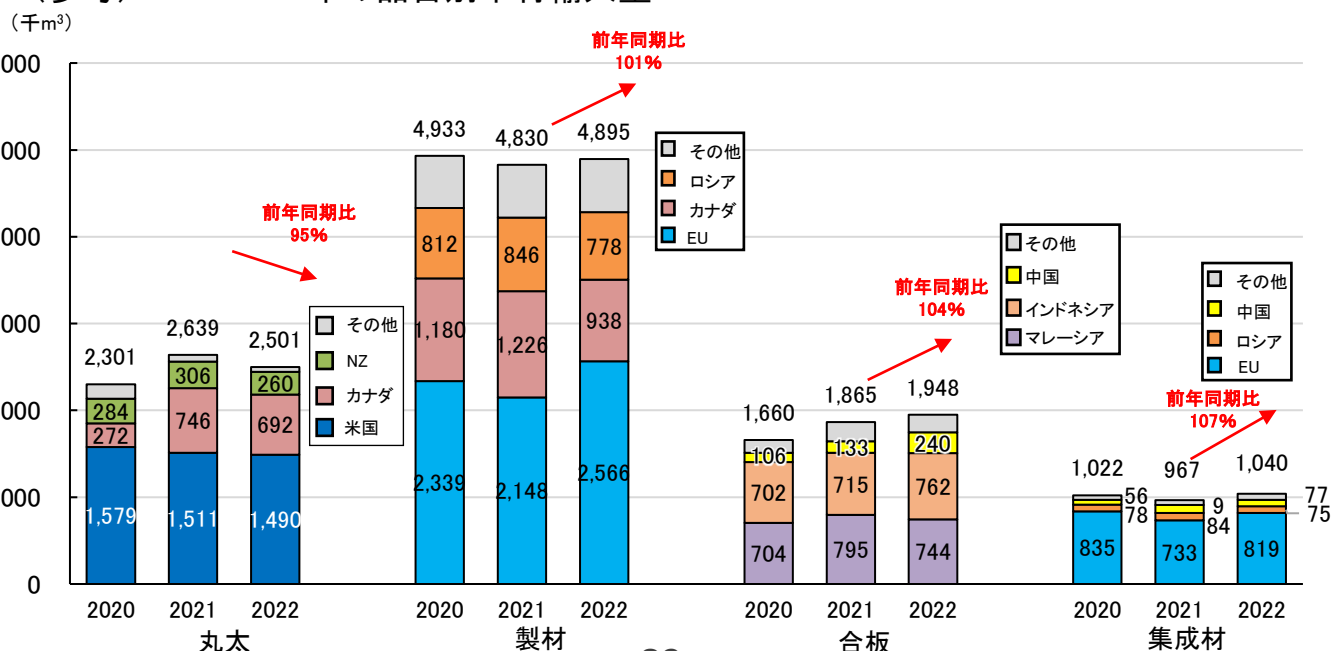
○2021～2023年の1月～10月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

注1：2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

（参考）2020～2022年の品目別木材輸入量



林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2023年10月の丸太輸入量は、前月比133%、前年同月比99%の17万m³となった。

(単位:千m³)

材種 国名	年	月別数量				累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月
合 計		[100%] 2,501	[100%] 128	[100%] 170	133%	99%	[100%] 2,138	[100%] 1,774
米 材		[87%] 2,182	[93%] 120	[75%] 127	107%	87%	[88%] 1,885	[85%] 1,508
米国		[60%] 1,490	[57%] 73	[56%] 95	131%	190%	[60%] 1,285	[57%] 1,012
カナダ		[28%] 692	[37%] 47	[19%] 32	69%	33%	[28%] 600	[28%] 496
南洋材		[1%] 29	[6%] 7	[0%] 0	7%	295%	[1%] 14	[2%] 31
インドネシア		[0%] 0	-	-	-	0%	[0%] 0	[0%] 0
マレーシア		[1%] 22	[6%] 7	[0%] 0	7%	405%	[1%] 14	[1%] 16
パプアニューギニア		[0%] 7	-	-	-	-	[1%] 14	皆増
ロシア材		[0%] 7	-	-	-	-	[0%] 7	-
ニュージーランド材		[10%] 260	[0%] 0	[25%] 42	15921%	168%	[10%] 210	[12%] 216
欧州材		[1%] 15	[0%] 0	-	0%	0%	[1%] 15	[1%] 13
EU 計		[1%] 15	[0%] 0	-	0%	0%	[1%] 15	[1%] 13
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	26%	230%	[0%] 2	[0%] 3
中 国		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	19%	31%	[0%] 2	[0%] 1
その他		[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	6%	3%	[0%] 3	[0%] 2

資料：財務省貿易統計

注 1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2023年10月の製材輸入量は、前月比84%、前年同月比76%の26万m³となった。

（単位：千m³）

年 材種 国名		2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量			
			2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比	
合 計		[100%] 4,895	[100%] 311	[100%] 261			[100%] 4,326	[100%] 2,739		
米 材		[22%] 1,070	[24%] 75	[37%] 96			[21%] 925	[25%] 695		
					129%	138%			75%	
		米国	[3%] 132	[3%] 9	[3%] 9			[3%] 113	[3%] 89	
カナダ		[19%] 938	[21%] 66	[33%] 87			[19%] 813	[22%] 605		
南洋材										
		[1%] 63	[1%] 4	[1%] 3			[1%] 52	[2%] 42		
					78%	59%			80%	
		インドネシア	[0%] 21	[1%] 2	[1%] 1			[0%] 17	[1%] 15	
マレーシア		[1%] 40	[1%] 3	[1%] 2			[1%] 34	[1%] 25		
パプアニューギニア		[0%] 0					[0%] 0	[0%] 0		
ロシア材		[16%] 778	[15%] 47	[15%] 38			[16%] 711	[15%] 405		
ニュージーランド材		[1%] 47	[1%] 3	[1%] 2			[1%] 41	[1%] 28		
チリ材		[5%] 251	[8%] 25	[3%] 8			[5%] 213	[6%] 154		
欧州材		[54%] 2,619	[49%] 153	[41%] 108			[54%] 2,327	[50%] 1,370		
					71%	56%			59%	
		EU 計	[52%] 2,566	[48%] 150	[41%] 106			[53%] 2,280	[49%] 1,346	
					71%	55%			59%	
(スウェーデン)		[17%] 847	[16%] 49	[10%] 27			[17%] 748	[17%] 453		
(フィンランド)		[17%] 842	[19%] 59	[14%] 38			[17%] 739	[18%] 485		
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[1%] 2			[0%] 2	[0%] 4		
中 国		[1%] 57	[1%] 3	[1%] 3			[1%] 49	[1%] 35		
その他		[0%] 8	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 7	[0%] 8		

資料：財務省貿易統計

注 1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2023年10月の合板輸入量は、前月比89%、前年同月比91%の13万m³となった。

(単位:千m³)

国名	年	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 1,948	[100%] 141	[100%] 125	89%	91%	[100%] 1,690	[100%] 1,128	67%
インドネシア		[39%] 762	[37%] 52	[40%] 50	96%	77%	[39%] 665	[39%] 437	66%
マレーシア		[38%] 744	[45%] 63	[37%] 46	73%	118%	[38%] 650	[37%] 420	65%
中国		[12%] 240	[8%] 12	[8%] 10	85%	76%	[13%] 213	[10%] 116	54%
ベトナム		[10%] 186	[9%] 12	[14%] 17	143%	101%	[9%] 148	[13%] 144	97%
EU		[0%] 6	[0%] 0	[0%] 0	61%	78%	[0%] 5	[1%] 6	114%
その他		[1%] 10	[0%] 0	[0%] 1	118%	61%	[0%] 8	[0%] 6	66%

資料：財務省貿易統計

- 注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。
 2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
 3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
 4：EUに英国は含まない。

- 2023年10月の木材チップ輸入量は、前月比95%、前年同月比90%の90万トンとなった。

(単位:千トン)

国名	年	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 11,312	[100%] 952	[100%] 904	95%	90%	[100%] 9,402	[100%] 9,459	101%
ベトナム		[38%] 4,300	[42%] 397	[45%] 403	102%	119%	[38%] 3,618	[37%] 3,504	97%
オーストラリア		[17%] 1,943	[22%] 208	[10%] 93	45%	45%	[17%] 1,627	[17%] 1,637	101%
チリ		[8%] 868	[1%] 9	[2%] 20	215%	26%	[8%] 760	[6%] 608	80%
南アフリカ共和国		[10%] 1,099	[11%] 108	[7%] 61	57%	70%	[10%] 914	[10%] 957	105%
米国		[8%] 960	[5%] 44	[11%] 103	231%	101%	[8%] 758	[8%] 799	105%
その他		[19%] 2,142	[20%] 186	[25%] 225	121%	113%	[18%] 1,725	[21%] 1,955	113%

資料：財務省貿易統計

- 注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。
 2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
 3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年10月の集成材輸入量は、前月比102%、前年同月比64%の4.6万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比100%、前年同月比65%の3.9万m³となった。

(単位:千m³)

年 国名	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 46	[100%] 46	102%	64%	[100%] 929	[100%] 528	57%
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 39	[100%] 39	100%	65%	[100%] 811	[100%] 451	56%
E U	[79%] 819	[70%] 32	[72%] 33	104%	60%	[78%] 730	[77%] 406	56%
うち 構造用集成材	[88%] 797	[80%] 31	[83%] 32	104%	60%	[88%] 711	[87%] 394	55%
フィンランド	[38%] 390	[28%] 13	[29%] 13	105%	43%	[37%] 341	[38%] 202	59%
うち 構造用集成材	[43%] 385	[32%] 12	[34%] 13	104%	43%	[42%] 338	[44%] 200	59%
ルーマニア	[15%] 156	[11%] 5	[19%] 9	182%	164%	[16%] 150	[12%] 62	41%
うち 構造用集成材	[16%] 148	[12%] 5	[23%] 9	186%	187%	[18%] 143	[13%] 60	42%
オーストリア	[12%] 125	[18%] 8	[13%] 6	73%	59%	[12%] 109	[11%] 58	53%
うち 構造用集成材	[13%] 116	[19%] 7	[13%] 5	69%	56%	[13%] 102	[11%] 51	50%
中国	[7%] 77	[11%] 5	[10%] 5	95%	93%	[8%] 71	[7%] 39	55%
うち 構造用集成材	[5%] 45	[8%] 3	[7%] 3	91%	107%	[5%] 42	[5%] 21	50%
ロシア	[7%] 75	[11%] 5	[8%] 4	80%	88%	[7%] 68	[7%] 38	56%
うち 構造用集成材	[7%] 63	[12%] 5	[10%] 4	83%	105%	[7%] 58	[8%] 36	62%
その他	[7%] 68	[8%] 4	[9%] 4	119%	67%	[7%] 61	[9%] 45	74%
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	39%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報- 4 木材輸入量（木質ペレット、L V L）

- 2023年10月の木質ペレット輸入量は、前月比104%、前年同月比118%の51万トンとなった。

(単位:千トン)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 4,407	[100%] 487	[100%] 505	104%	118%	[100%] 3,755	[100%] 4,814	128%
ベトナム	[54%] 2,394	[57%] 276	[35%] 178	65%	83%	[54%] 2,029	[45%] 2,185	108%
カナダ	[31%] 1,359	[28%] 138	[29%] 144	104%	144%	[30%] 1,141	[28%] 1,338	117%
米 国	[7%] 303	[12%] 57	[29%] 148	259%	186%	[8%] 303	[21%] 993	328%
マレーシア	[3%] 137	[1%] 5	[7%] 35	685%	192%	[2%] 94	[4%] 174	186%
その他	[5%] 214	[2%] 11	[0%] 0	2%	1%	[5%] 188	[3%] 124	66%

資料：財務省貿易統計
注 1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年10月のLVL輸入量は、前月比111%、前年同月比87%の4.2万m³となった。

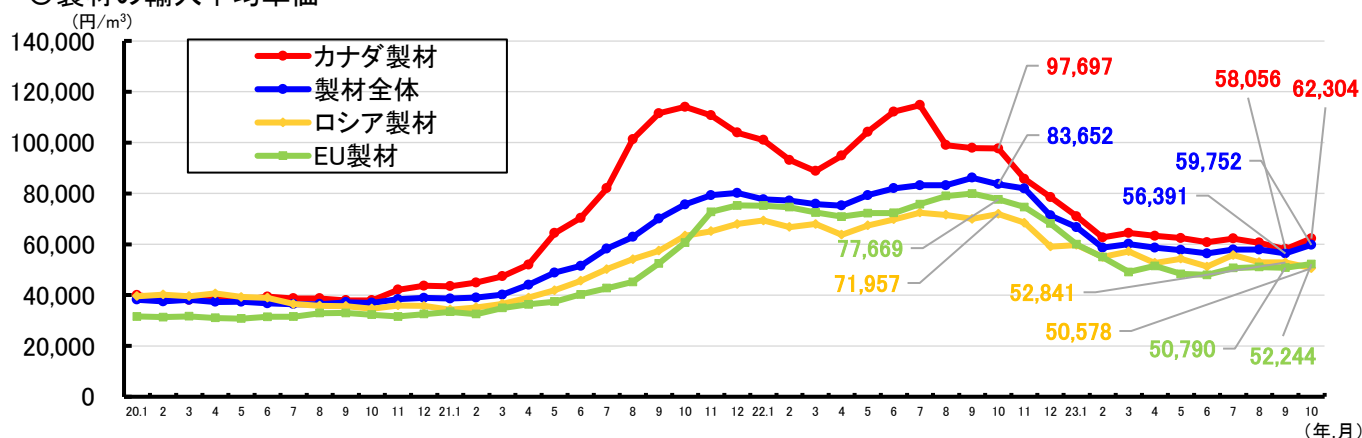
(単位:千m³)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 9月	2023年 10月	前月比	前年 同月比	2022年 1～10月	2023年 1～10月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 527	[100%] 38	[100%] 42	111%	87%	[100%] 432	[100%] 396	92%
中 国	[75%] 397	[73%] 28	[73%] 31	112%	85%	[75%] 325	[74%] 294	90%
ベトナム	[20%] 107	[22%] 8	[24%] 10	125%	96%	[20%] 88	[22%] 85	97%
インドネシア	[4%] 19	[4%] 2	[2%] 1	57%	67%	[4%] 16	[3%] 13	80%
その他	[1%] 4	[1%] 0	[0%] 0	19%	35%	[1%] 3	[1%] 3	104%

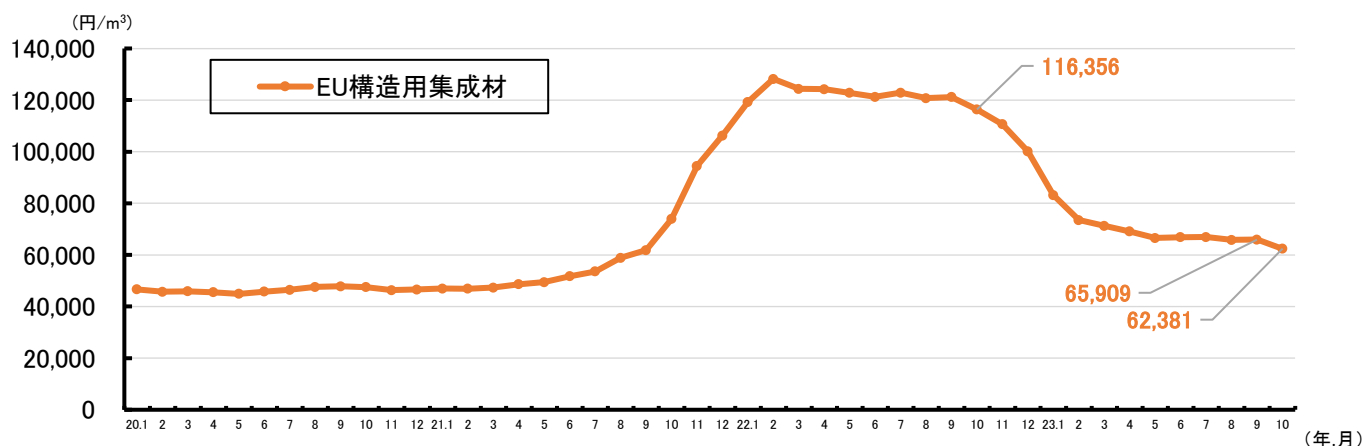
資料：財務省貿易統計
注 1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年10月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比106%の59,752円/㎡（前年同月比71%）。うち、カナダの製材は、前月比107%の62,304円/㎡（前年同月比64%）、EUの製材は、前月比103%の52,244円/㎡（前年同月比67%）、ロシアの製材は、前月比96%の50,578円/㎡（前年同月比70%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比95%の62,381円/㎡（前年同月比54%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比98%の81,992円/㎡（前年同月比70%）。

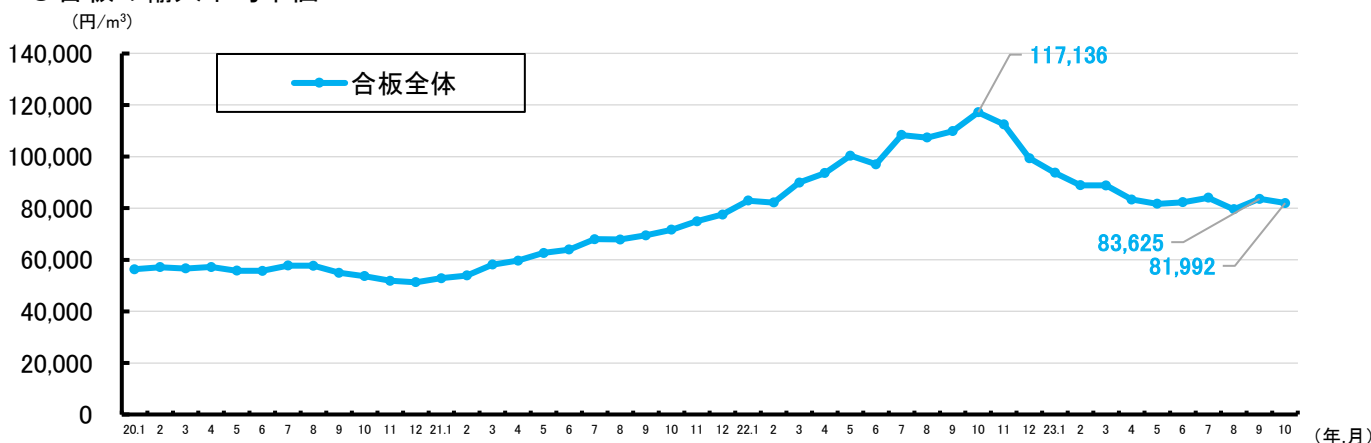
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報- 1

特用林産物の国内生産量

- 2022年の食用きのこ類の生産量は46万1,736t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は2万1,798t（対前年比109.4%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,882t（対前年比102.9%）となった。

〇きのこ類

単位:t

品目 年次		きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ			なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	83,861	2,034	14,241	69,620	4,342	65,278	23,697	126,321	4,501	123,134	57,267	37,798	2,997	36

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

〇その他食品

単位:t

品目 年次		その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635

注:くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和4年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(概数値)』による。

〇非食品

品目 年次		非 食 用																
		生うるし	もろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	t	t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	90,976	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190

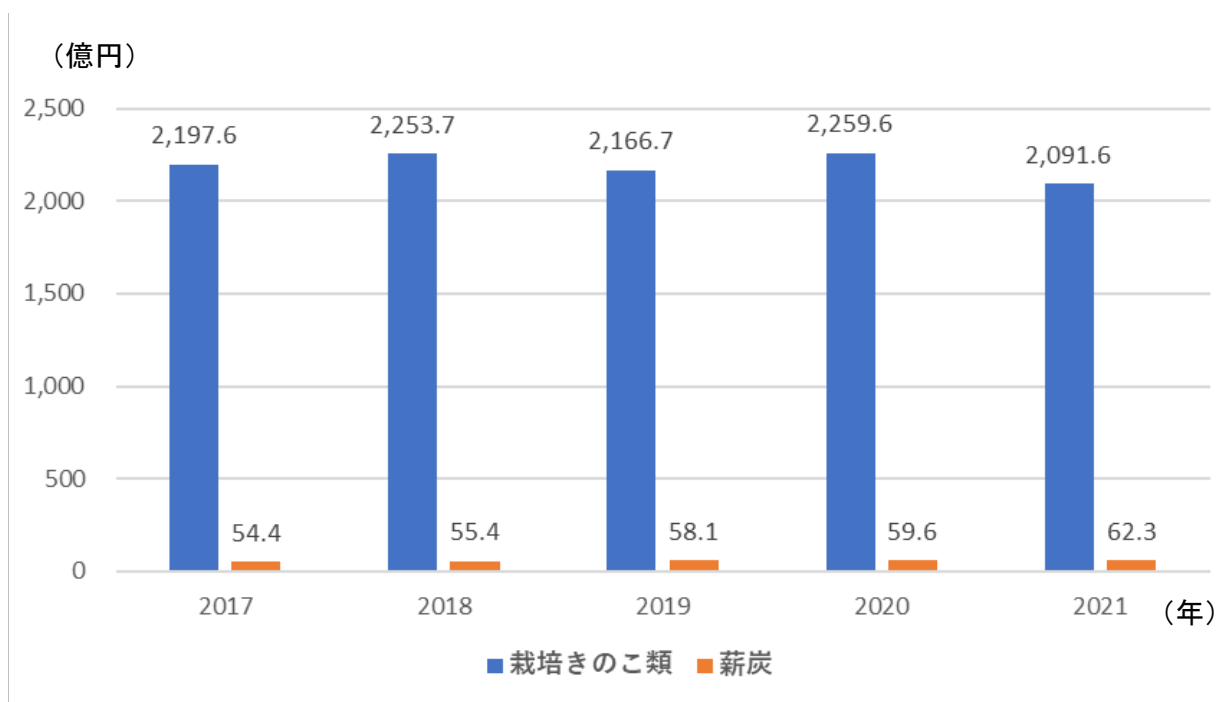
- 注: 1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。
2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料：農林水産省「令和4年特用林産基礎資料」

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

(億円)

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2, 197. 6	2, 253. 7	2, 166. 7	2, 259. 6	2, 091. 6
薪炭	54. 4	55. 4	58. 1	59. 6	62. 3



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～10月の乾しいたけの輸出量は26トン、輸入量は3,582トン。
- 2023年1～10月の木炭の輸出量は228トン、輸入量は71,423トン。

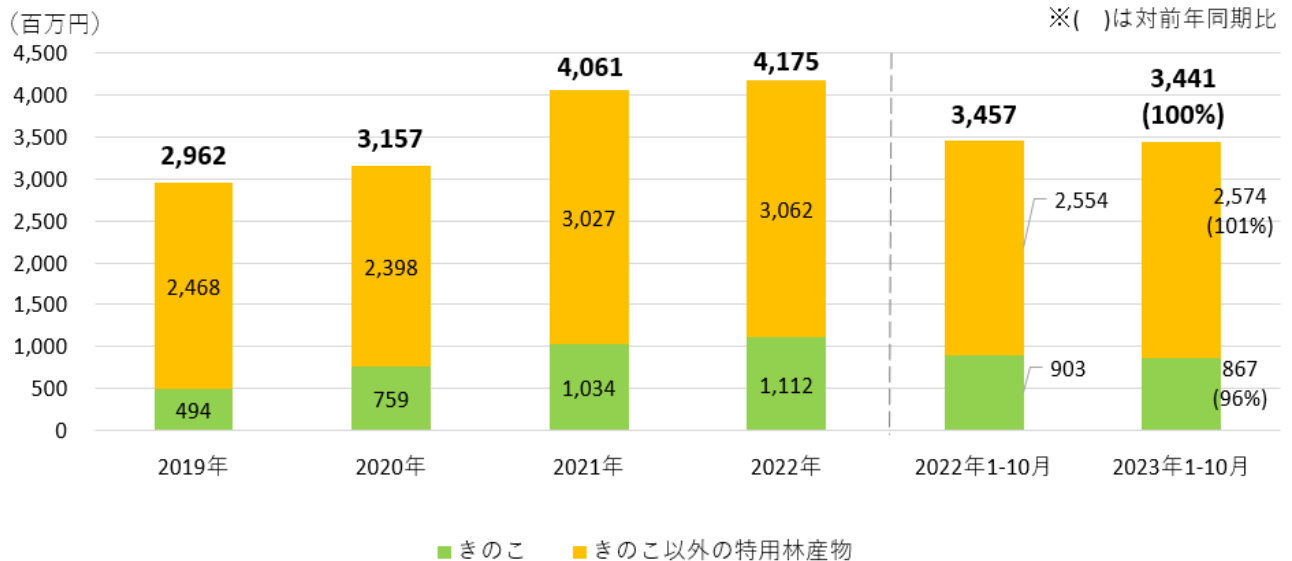
品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-10月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	26	3,582
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	13	1,524
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	45	18,925
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	0	408	0	411
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	5,073
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	48,079
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	105,741
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	7	5
生うるし	k g	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	11,975
つばき油	k l	…	180	…	220	…	224	…	218	…	140
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	0	133
桐材	m ³	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	8,253
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	78,838	228	71,423
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	1	9,819
木酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	435	6,874
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	38,214
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

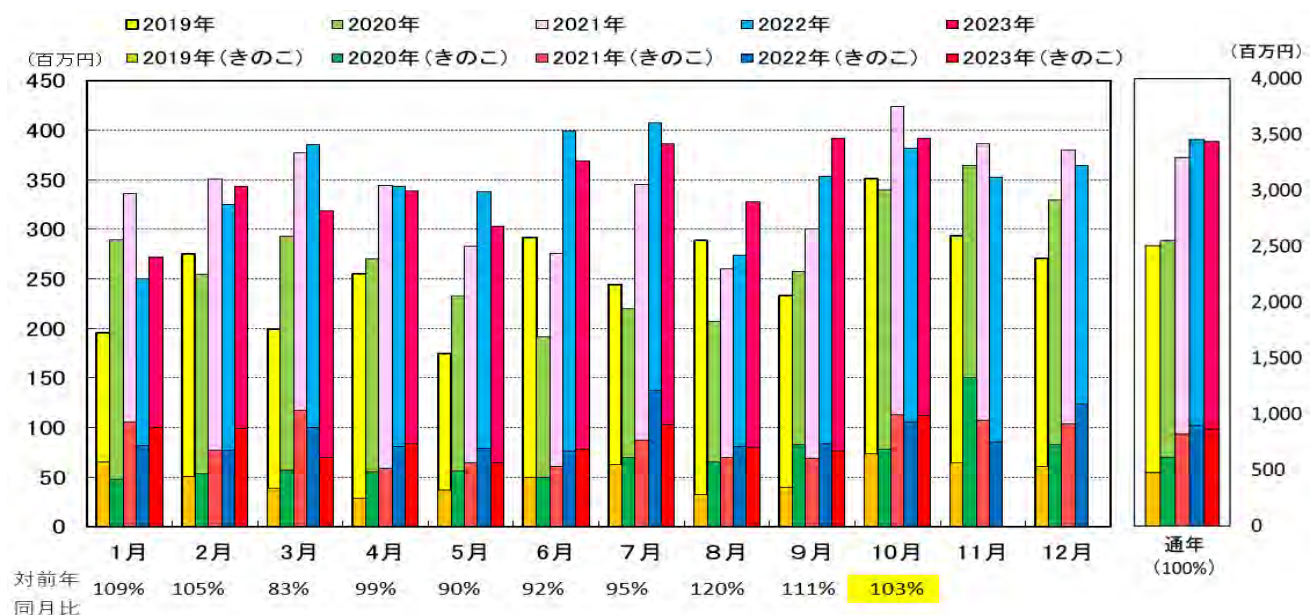
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- 2023年（1～10月）の特用林産物輸出額は3,441百万円（前年同期比100%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は867百万円（対前年同期比96%）、きのこ以外は2,574百万円（対前年同期比101%）となった。
- 10月の輸出額は、392百万円（対前年同月比103%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は112百万円（対前年同月比106%）、きのこ以外は280百万円（対前年同月比101%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

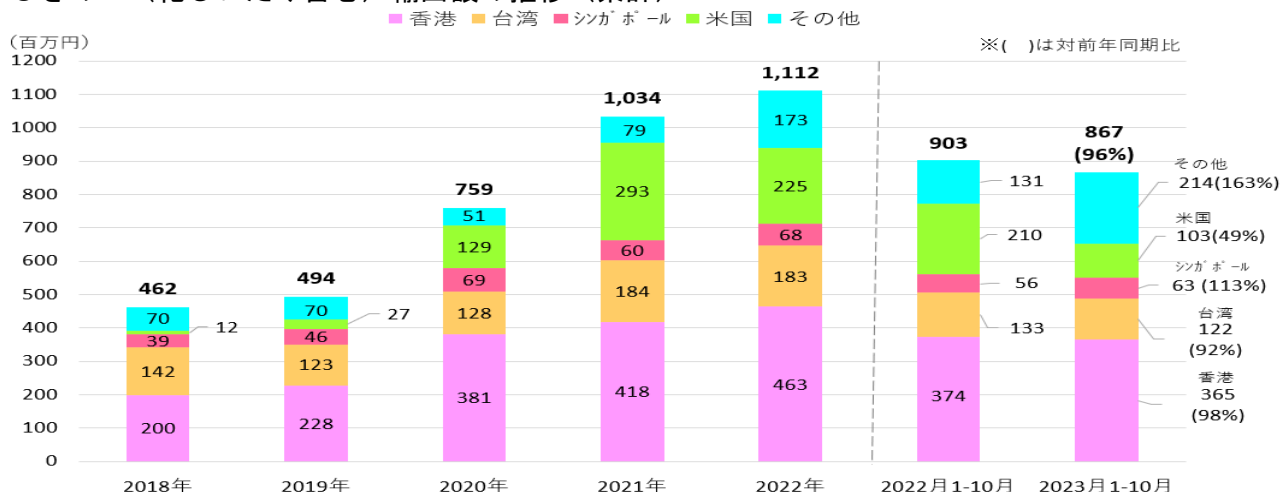
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産物の輸出額②

- 2023年（1～10月）のきのこの輸出額は867百万円で、対前年同期比96%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比98%、台湾が92%、シンガポールが113%、米国が49%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は1,236トンで、対前年同期比102%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比92%、台湾が84%、シンガポールが106%、米国が49%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



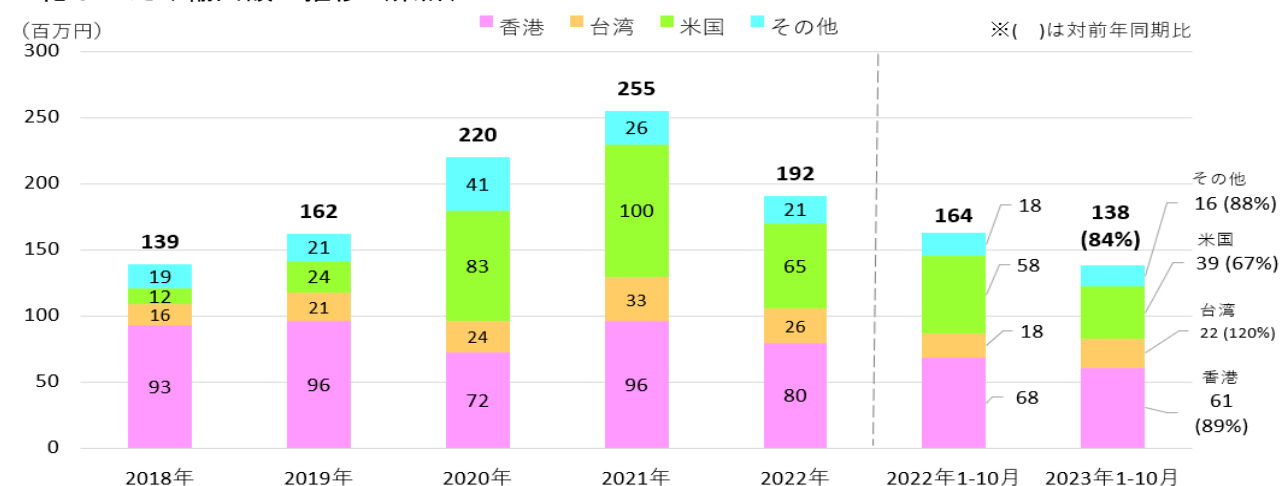
資料：財務省貿易統計

※（ ）は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～10月）の乾しいたけの輸出額は138百万円で、対前年同期比84%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比89%、台湾は120%、米国は67%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は26トンで、対前年同期比81%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比91%、台湾が112%、米国が71%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）



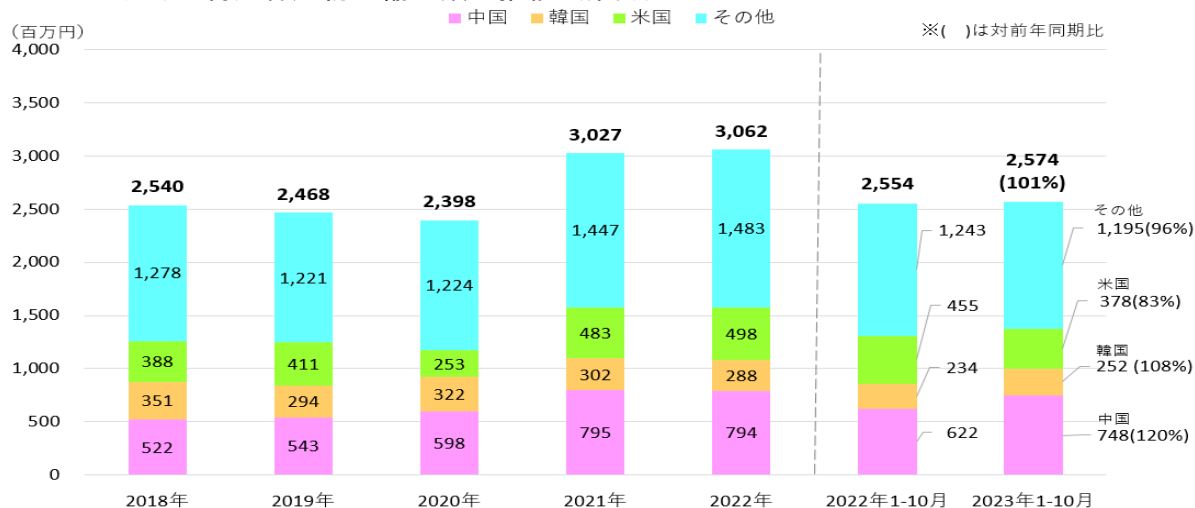
資料：財務省貿易統計

※（ ）は対前年同期比

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～10月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は2,574百万円で、対前年同期比101%となっている。国別には、中国が対前年同期比120%、韓国が108%、米国が83%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比95%、植物性ろうが106%、テルペン油が124%となっている。
- 2023年（1～10月）の輸出量は1,961トンで、対前年同期比88%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比109%、韓国が116%、米国が68%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

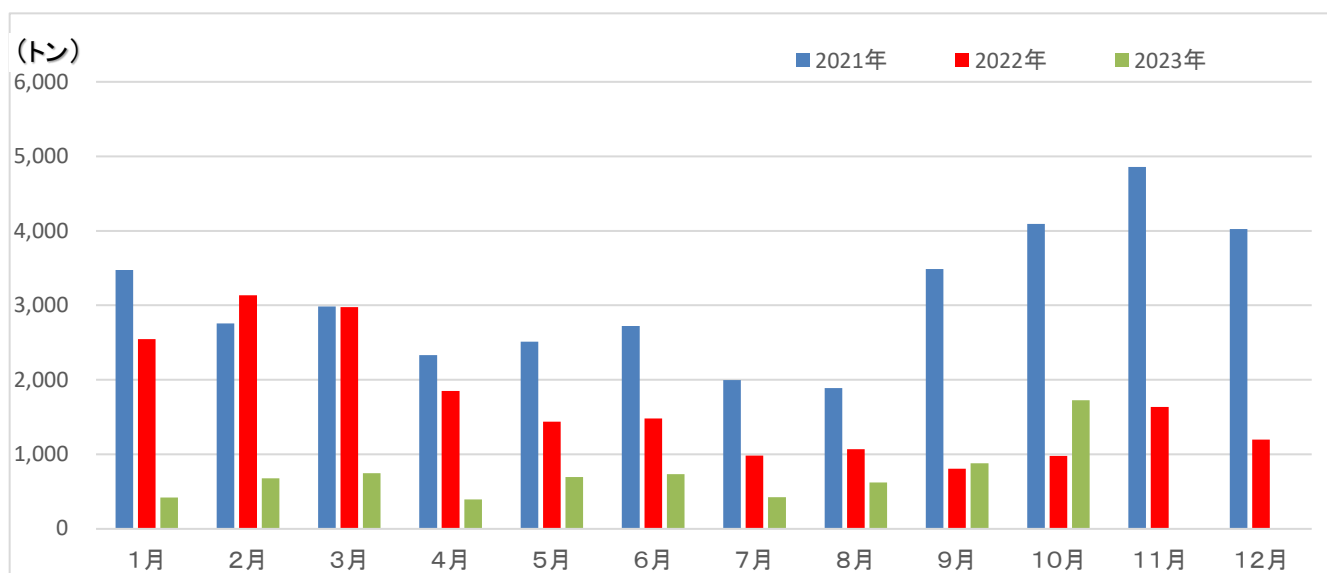
特用林産情報- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 本年10月の輸入量は1,726トンであり、対改正前直近年の同月比42.2%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726		



資料：財務省貿易統計

- 2023年11月のきのこの卸売数量は7,593トン（対前年同月比92.6%）となった。
- 2023年11月のきのこの卸売総額は4,241百万円（対前年同月比101.2%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,766	1,175	1,069	1,038	1,157	1,621	1,657
なめこ	16,889	16,285	16,865	484	470	466	455	511	525	523
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	3,762	1,938	1,866	2,085	2,848	3,586	3,426
しめじ	62,573	62,049	62,459	2,188	1,391	1,433	1,444	1,830	2,201	1,987
合計	226,240	225,649	226,202	8,200	4,974	4,834	5,022	6,346	7,933	7,593

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,748	1,069	970	993	1,204	1,737	1,708
なめこ	7,431	7,032	7,321	243	214	204	194	239	266	247
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	1,125	605	486	457	764	1,100	1,209
しめじ	28,688	25,099	25,300	1,075	623	556	539	859	1,137	1,078
合計	106,144	96,668	97,209	4,190	2,511	2,216	2,182	3,066	4,241	4,241

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 11月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月
生しいたけ	903	864	875	990	909	907	957	1,041	1,071	1,031
なめこ	440	432	434	502	455	438	425	468	507	472
えのきだけ	267	234	234	299	312	261	219	268	307	353
しめじ	458	404	405	491	448	388	373	469	517	542

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報ををご紹介します。

■12月中旬以降の開催情報

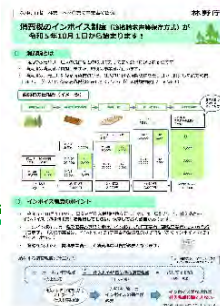
イベント名	開催日時	会場	イベント概要
森林の仕事 ガイダンス	●エリアガイダンス 山形県、茨城県、 新潟県、長野県、 鳥取県、高知県： R6年1月開催 愛媛県、大分県： R6年2月開催	詳細はHP参照	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 等 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細：https://www.ringyou.net/guidance/
～美しい地球は、 私達の心の ハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティ コンサート vol. 86	12月20日（水）	セルリアン タワー 東急ホテル	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 詳細（チケット予約はこちらから）： https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/
WOODコレクション （モクコレ）2024	1月11日（木） ～12日（金）	東京国際 展示場 「ビッグ サイト」西 1・2ホール	新たな木材需要を喚起し、木材利用の拡大を図るとともに、森林の循環に寄与することを目的に、東京の木、多摩産材をはじめとする日本各地の地域材を活用した建材や家具などの木材製品の展示商談会です。 主催：WOODコレクション実行委員会 事前申込：要 参加費：無料 詳細：https://mokucole.com/jp
山村と企業を つなぐフォーラム	2月7日（水）	木材会館 （オンライン 併用）	企業による森林でのプログラム等の活用を促進するため、「森林サービス産業」を展開する山村地域とそのプログラム等の活用に関心がある企業をつなぐフォーラムを開催します。 主催：林野庁 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/231213.html
建築・建材展2024	3月12日（火） ～3月15日（金）	東京国際 展示場 「ビッグ サイト」 東展示棟	安心・安全で快適な住環境、商環境の実現に不可欠な各種建材及び関連設備機器などを一堂に集め展示します。 主催：（株）日本経済新聞社 事前申込：不要 参加費：3,000円（ウェブサイトから事前登録した場合は入場料無料） 詳細：https://messe.nikkei.co.jp/ac/

お知らせ

10月1日から 消費税インボイス制度 が始まりました！

森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁では**インボイスサイト**を開設し、**ポイント**をわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。

また、**相談窓口も開設**しておりますので、ぜひご活用ください！



インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、リーフレット消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入に係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が**仕入税額控除**を行うためには、原則として、**仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要**。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。
(免税事業者はインボイスの交付不可！)



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要

売上げに係る消費税額（売上税額） マイナス 仕入れや経費に係る消費税額 = 納付する税額（納付税額）

仕入れに係る消費税額を差し引くこと
= 仕入税額控除

仕入税額控除には
インボイスの保存が
必要

インボイスがなければ
仕入税額控除できない！※

※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています。

簡易課税制度を選択した場合の計算方法

納付する税額 =

売上げの消費税額 マイナス 仕入れや経費の消費税額

売上げの消費税額 $\times$ みなし仕入率

売上税額がわかれば
納付税額の計算が可能！

事務負担が軽減！

インボイスの
保存不要！

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

(注) 簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要。

インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等の記載した請求書。

(※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号)

- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、**現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージ**。

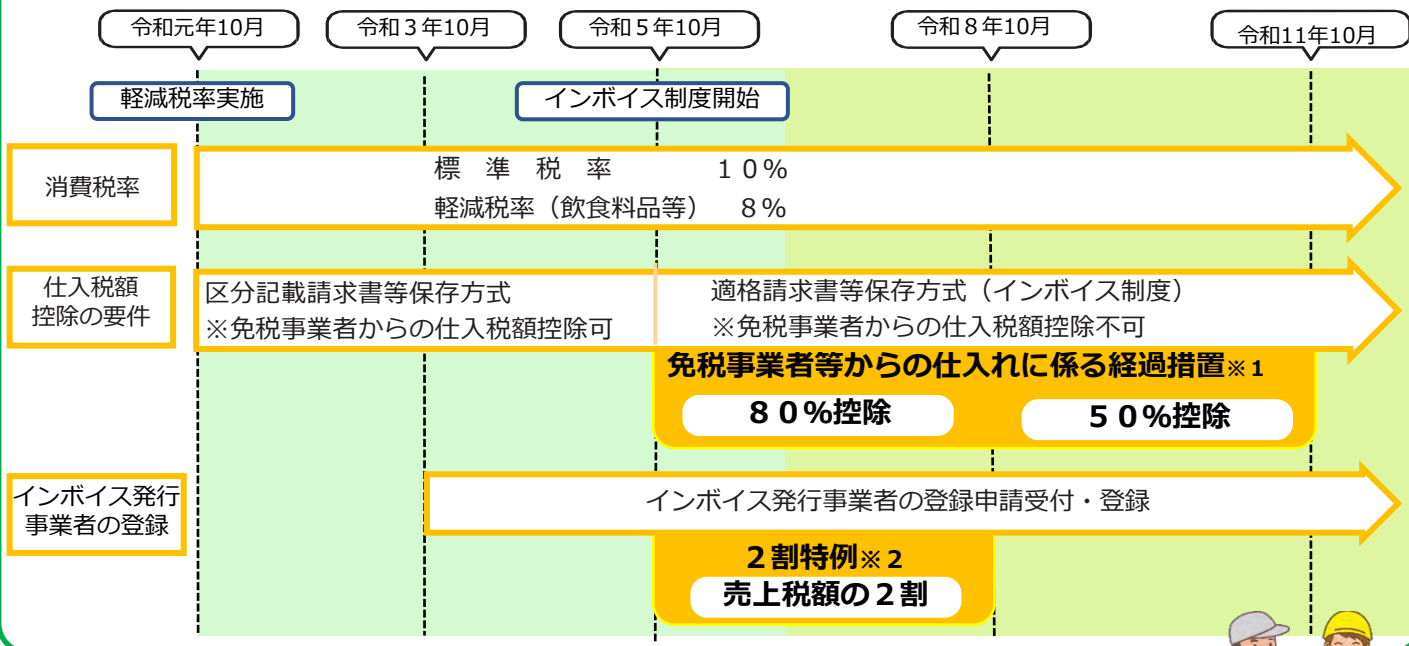
【インボイスのイメージ】

請求書			
●●(株)御中		登録番号	〇〇会社 (T1234...)
〇年〇月分	請求金額	115,400円	
〇月〇日	丸太	110,000円	
〇月〇日	乾しいたけ※	5,400円	
	合計	115,400円	
適用税率		10%対象	110,000円 内税 10,000円
		8%対象	5,400円 内税 400円
		※は軽減税率対象	
		消費税額等	

赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

インボイス制度のスケジュール及び経過措置等

- 免税事業者については、令和5年10月1日から11年9月30日までの日の属する課税期間中に登録を受ける場合、**登録希望日（登録申請書提出から15日経過以後の日）からインボイス発行事業者となる経過措置**が設けられています。但し**登録通知が届くまで一定期間（e-Tax提出：約1ヶ月、書面提出：約1ヶ月半）を要する**ため、登録を受ける事をお決めの方は、**お早めの申請をおすすめします！**
- **制度開始後6年間（～令和11年9月30日）は、従来の区分記載請求書等に基づき、免税事業者等からの仕入れであっても一定の割合で仕入税額控除が出来る経過措置**が設けられています（※1）。
- **免税事業者からインボイス発行事業者となる場合には、納付税額を売上げの消費税額の2割とすることができる負担軽減措置（2割特例）**があります（※2）。



免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方



仕入先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合は、上述の経過措置が設けられていることを考慮しつつ、**一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要があります。**

また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費税を負担しているので、**その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。**

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「**免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A**」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。

公正取引委員会
インボイス制度
関連コーナー



林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 **03-3502-8111**（内線**6064**）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス syohizei_rinya@maff.go.jp

（インボイス制度の基本的な内容や、業界特有の対応に係るご質問から、地域等での説明会の開催に当たっての講師派遣、広報誌への寄稿等、お気軽にご相談ください！）

林野庁インボイスサイト https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syohizei_invoice.html

林野庁
インボイスサイト
はこちら！



林業信用保証では

事業承継のための資金繰り を支援します！

自社の株式や事業用資産を買い取るための資金、運転資金等の調達にご利用できます。

事業承継支援保証のポイント

- ① 最大で **5年間保証料が免除** することができます
- ② 実質 **無保証人** でご利用することができます
- ③ **人（経営）、資産及び知的資産** の承継を伴うものが対象です

※保証については一定の審査があります。

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金
電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ（※）」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

（※）ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

（注）使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班（TEL：03-6744-2298）

